

令和4年度
さいたま市博物館年報

さいたま市立博物館
さいたま市立浦和博物館
浦和くらしの博物館民家園
旧坂東家住宅見沼くらしっく館

令和4年度さいたま市博物館年報



さいたま市立博物館



浦和くらしの博物館民家園



浦和博物館



旧坂東家住宅見沼くらしっく館

目次

さいたま市立博物館

1. 運営方針	4
2. 沿革	4
3. 組織	4
4. 施設の概要	
(1) 建物と各室の配置、面積	5
(2) 常設展示室案内図	6
5. 令和4年度事業報告	
(1) 展示及び関連講座	7
(2) 講座・その他事業	12
(3) 学校巡回展	14
(4) 体験学習	16
(5) 資料貸出	17
(6) 出張講座	17
(7) 職場体験、実習、研修	18
(8) 資料燻蒸及び館内消毒	19
(9) 利用状況・統計	20
(10) 刊行物	21
(11) 収蔵資料	21

浦和博物館

1. 運営方針	22
2. 沿革	22
3. 施設の概要	
(1) 建物と各室の配置、面積	22
(2) 建物の由来と鳳翔閣	23
4. 令和4年度事業報告	
(1) 展示及び関連講座	23
(2) 講座・その他事業	25
(3) 体験学習・学校団体見学受入れ	26
(4) 出張講座	27
(5) 職場体験、実習、研修	27
(6) 利用状況・統計	28
(7) 刊行物	28
(8) 収蔵資料	28

浦和くらしの博物館民家園

1. 運営方針	29
2. 沿革	29
3. 施設の概要	
(1) 敷地面積	29
(2) 建物	30
4. 令和4年度事業報告	
(1) 展示	31
(2) 講座	33
(3) 体験学習、団体見学・利用受入れ	35
(4) 出張講座	37
(5) 職場体験、実習、研修	37
(6) ボランティア活動	38
(7) 民家保存及び園内整備	38
(8) 利用状況・統計	39
(9) 刊行物	39
(10) 収蔵資料	39

旧坂東家住宅見沼くらしっく館

1. 運営方針	40
2. 沿革	40
3. 施設の概要	
(1) 建物と各室の配置、面積	40
(2) 各棟の配置、面積、構造	41
4. 令和4年度事業報告	
(1) 季節展示	41
(2) 常設展示	41
(3) 講座・その他事業	42
(4) 体験学習、学校団体見学受入れ	44
(5) 館の保存及び館内整備	45
(6) 利用状況・統計	45

分館

1. 岩槻郷土資料館	46
2. 岩槻藩遷喬館	49
3. 与野郷土資料館	51
4. 鴻沼資料館	55
5. 旧高野家離座敷	56

各館の案内	57
-------	----

条例・規則

○さいたま市博物館条例	60
○さいたま市博物館条例施行規則	61
○さいたま市博物館協議会規則	63

さいたま市立博物館

1. 運営方針

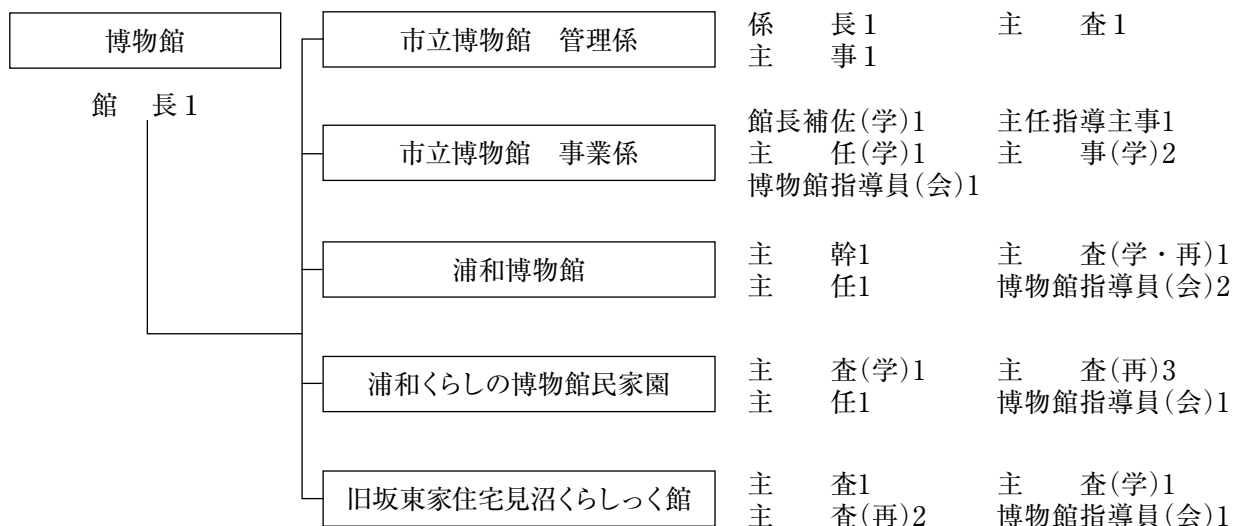
さいたま市立博物館は、生涯にわたって創造性豊かな市民を育て、教育・学術・文化の発展に寄与するため、次のような基本方針に基づき運営する。

- (1) さいたまの地で営まれた人々の生活を通して、原始・古代から現代に至るさいたま市域の歴史を知ることができるよう、教育普及活動を重視した博物館である。
- (2) 考古・民俗・歴史・美術・教育資料や各種の生活資料を調査・収集し、保存・展示・研究を進める博物館である。
- (3) 市民の郷土意識の涵養を図り、歴史・美術等に関連する団体・グループ活動の発表の場となる博物館である。

2. 沿革

昭和53年 (1978)	3月	大宮市議会において予算及び建設予算可決
昭和54年 (1979)	5月	大宮市立郷土史料博物館準備室設置
昭和55年 (1980)	11月	大宮市立博物館開館
昭和57年 (1982)	11月	博物館登録原簿に登録 (埼玉第6号)
平成13年 (2001)	5月	3市合併 (浦和・大宮・与野市) に伴い、「さいたま市立博物館」に改称
平成14年 (2002)	3月	特別展示室中央展示ケース改修工事終了
平成14年 (2002)	10月	身障者用トイレ改修工事終了
平成17年 (2005)	3月	人荷用エレベーター改修工事、消火設備改修工事終了
平成17年 (2005)	4月	岩槻市の編入合併に伴い、岩槻郷土資料館・岩槻藩遷喬館を分館とする
平成19年 (2007)	1月	石綿除去工事終了 (工事に伴い平成18年11月1日～19年1月31日まで休館)
平成23年 (2011)	3月	空調設備改修工事終了 (工事に伴い平成23年3月1日～25日まで休館)

3. 組織 (令和4年4月1日現在)



《博物館分館》

岩槻郷土資料館 主査(再)1 博物館指導員(会)1	岩槻藩遷喬館	与野郷土資料館 主査(再)1 主査(再)1 博物館指導員(会)1	鴻沼資料館	旧高野家離座敷
---------------------------------	--------	---	-------	---------

【凡例】 (学)=学芸員、(再)=再任用職員、(会)=会計年度任用職員

4. 施設の概要

(1) 建物と各室の配置、面積

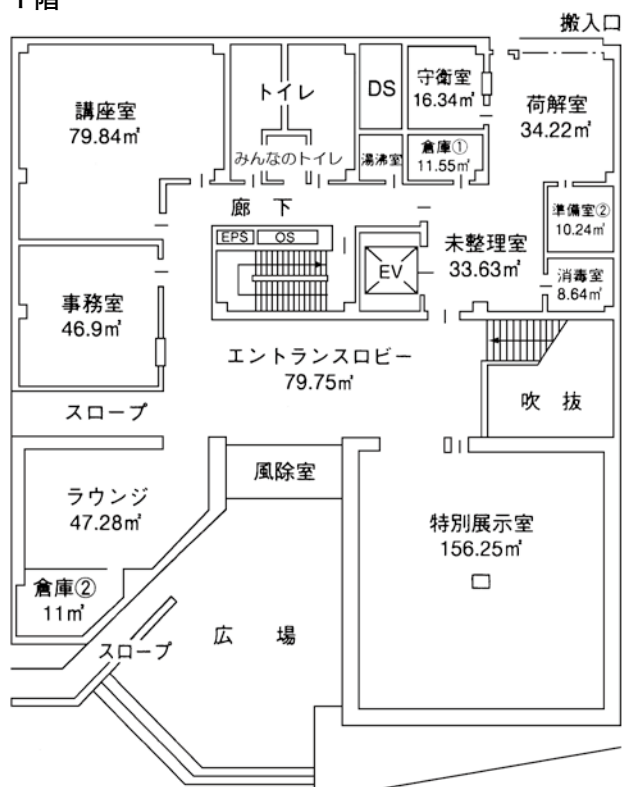
- ①構造 鉄筋コンクリート造 ②階数 地上2階・地下1階、一部屋階
 ③敷地面積 1,570.79㎡ ④建築面積 790.01㎡
 ⑤延床面積 2,330.18㎡ 地階832.96㎡ 1階714.31㎡ 2階752.10㎡ 屋階30.81㎡

展示部門	593.17	管理部門	931.72	収蔵部門	391.58
常設展示室	389.48	事務室	46.9	第1収蔵庫	144.0
特別展示室	156.25	作業室	36.0	第2収蔵庫	247.58
展示準備室①	37.2	更衣休憩室	16.8		
展示準備室②	10.24	倉庫①	11.55	研究部門	206.84
		倉庫②	11.0	工作室①	36.0
教育部門	206.87	倉庫③	12.6	工作室②	16.8
講座室	79.84	湯沸室	7.26	スタジオ	28.6
ラウンジ	47.28	電気室	55.2	暗室	7.4
エントランスロビー	79.75	発電機室	22.94	文献資料室	74.25
		機械室	190.0	荷解室	34.22
		その他	521.47	倉庫④	9.57

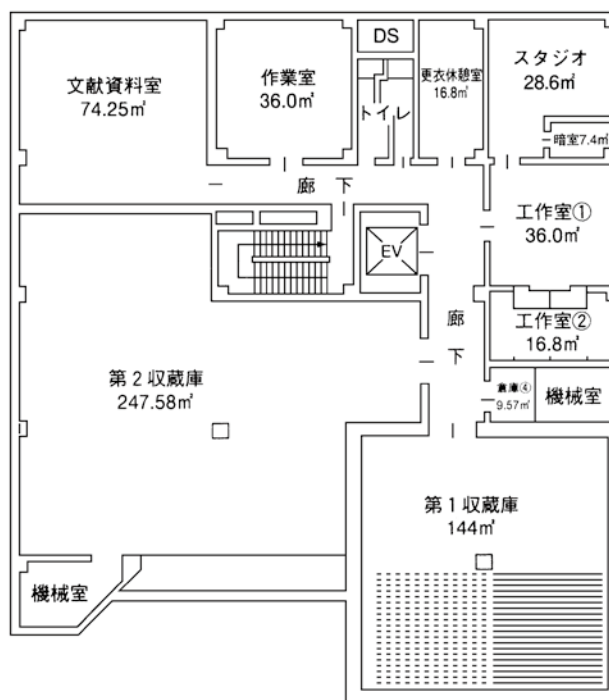
(単位：㎡)

各室の配置

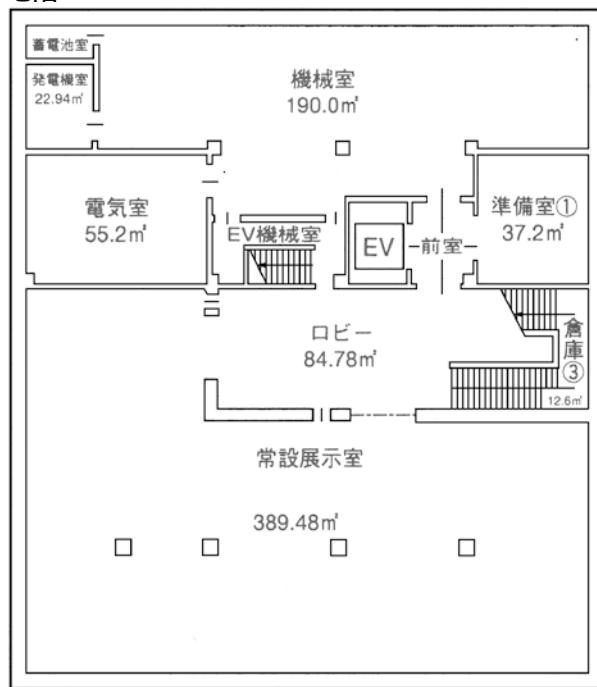
1階



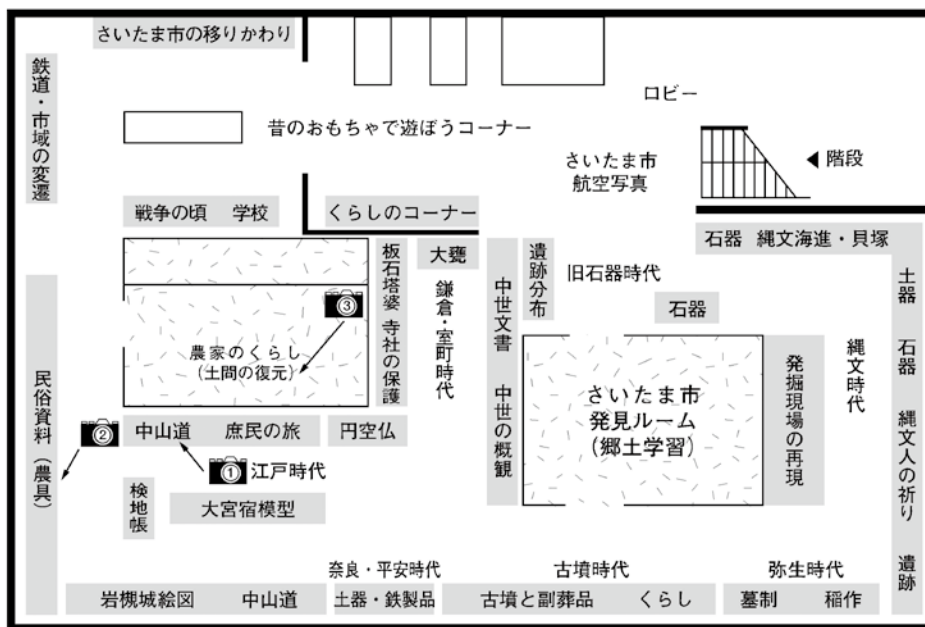
2階



地階



(2) 常設展示室案内図



5. 令和4年度事業報告

(1) 展示及び関連講座

① 第34回企画展「自然塗料「赤山渋」 ～かつての郷土特産物～」

現在のさいたま市東部から川口市北部にかけての、大宮台地を中心とした地域の農家では、江戸時代後期から昭和戦後にかけて、柿渋が盛んに作られました。この柿渋は「赤山渋」と呼ばれ、江戸を始め関東各地に出荷され、家屋の外壁や投網、団扇、提灯、唐傘などの塗料として珍重されていましたが、化学塗料が普及していく過程で生産されなくなり、今では見ることができなくなっています。本展示では、かつて郷土の特産品として名を馳せた「赤山渋」について、古文書や生産用の道具、製品などの資料をもとに考察し、理解を深めました。

- 会 期 令和4年3月5日(土)～令和4年5月8日(日)65日間(開館日数56日)3,088人
(令和4年度：4月1日(金)～5月8日(日)38日間(開館日数33日)1,840人)
- 構 成 序章 柿と日本人
第1章 柿渋のあゆみ
第2章 柿渋をつくる
第3章 柿渋をつかう
第4章 「赤山渋」～かつての郷土特産物～
- 出品点数 72点
- 印刷物 A4判チラシ(8,000枚)、A3判ポスター(5,000枚)
- 展示解説 ア 4月17日(日) 参加者19人
イ 5月3日(火・祝) 参加者30人



企画展「赤山渋」(展示)



ポスター

② 夏休み子ども博物館

学年ごとの学びに対応した学習支援を行うことを主旨とし、「大昔のさいたま市」「井沢弥惣兵衛と見沼代用水」などといった、社会科の教科書や副読本の内容に関連した展示や関連講座を行いました。また、さいたま市の魅力を発信すべく、「さいたま市リーディングエッジ企業」から藤倉コンポジット株式会社、フォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社が自社製品の展示を行いました。

- ・会 期 7月16日(土)～8月28日(日) 44日間(開館日数37日) 入館者3,481人
- ・構 成
 - 1 さいたま市の位置と様子
 - 2 さいたま市の発展につくした人物
 - 3 さいたま市の鉄道と道路
 - 4 さいたま市の街道
 - 5 縄文時代のさいたま市
 - 6 さいたま市のSDGs
 - 7 世界にほこるさいたま市の「ものづくり」

・印刷物 B4判チラシ(76,300枚)

・関連講座 体験講座や見学会など

参加者合計 751人

	実施日	講座名	講座数	参加者数
1	7月21日(木)、22日(金)	土器づくり	4回	108人
2	7月23日(土)、24日(日)	土器づくり(親子)	4回	95人
3	7月26日(火)、27日(水)	まが玉づくり	4回	108人
4	7月28日(木)	せんすづくり	2回	50人
5	7月29日(金)	藍染め 絞り エコリュック	2回	51人
6	7月30日(土)	藍染め 絞り Tシャツ(親子)	2回	49人
7	7月31日(日)	藍染め 型 ミニエコバッグ(親子)	2回	33人
8	8月4日(木)、5日(金)	火おこし器づくり	4回	102人
9	8月6日(土)、7日(日)	縄文の布コースターづくり(親子)	4回	88人
10	8月9日(火)、10日(水)	さいたま市の鉄道	2回	22人
11	8月11日(木)	折り紙教室(親子)	2回	45人

・学習ノートの活用

- 1 常設展示を見ながら学習ノートの問題に答え、さいたま市の歴史を学びます。

ア 小学校3年生向き	エ 中学生向き①(旧石器時代～戦国時代)
イ 小学校4年生向き	オ 中学生向き②(江戸時代～明治時代)
ウ 小学校5・6年生向き	カ 中学生向き③(明治時代～昭和時代)

※さいたま市立博物館HPより、ダウンロード用の学習ノートとWeb版の学習ノートも配信。



「夏休み子ども博物館」(展示)



チラシ(表面)

③ 最新出土品展（文化財保護課主催）

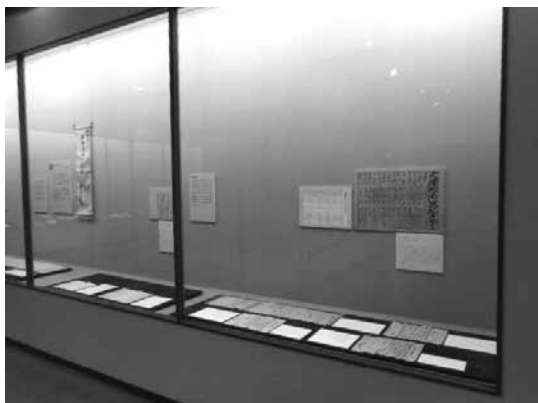
さいたま市内で実施した埋蔵文化財発掘調査の最新成果を紹介する展示会を、特別展示室において文化財保護課の主催で開催しました。

- 会 期 9月6日(火)～19日(月・祝) 14日間(開館日数13日) 入館者476人

④ 第46回特別展「天保の時代とその世相ーさいたまに残る史料から見た改革ー」

天保の時代(1830～1844)は、貨幣経済の庶民への浸透による生活環境の変化や、数年にわたる飢饉等様々な要因による社会経済情勢の変動が大きかった時代で、いわゆる「天保の改革」によって、江戸幕府がその立て直しを図ろうとした時期です。幕末へと向かう社会変動が大きい時代に生きた、身近な地域の人々の足跡を知ること、当時の世相がどのようなものであったかを理解し、同じく変化の大きい現代にある私たちの生きる手がかりについて考えました。

- 会 期 10月8日(土)～11月20日(日) 44日間(開館日数38日) 入館者2,608人
- 構 成 序 章 なぜ改革が必要となったか ～天保の時代の地域の様相～
第1章 奢侈の取り締まり ～儉約令と風紀統制～
第2章 幕領の立て直し ～人返し令と上知令～
第3章 将軍権威の強化 ～将軍・徳川家慶の日光社参～
終 章 天保の改革が何をもたらしたか ～改革後の世相～
- 出品点数 実物資料25件(うち指定文化財13件) 43点
- 印刷物 A4判チラシ(8,000枚)、A3判ポスター(5,000枚)
A4判図録(48頁、1,300部、頒布価格600円)
- 関連講座 ア 10月23日(日) 13時30分～15時30分 参加者29人
演題：「天保十四年の日光社参」
講師：国際基督教大学 助教 椿田有希子氏
イ 11月13日(日) 13時30分～15時30分 参加者28名
演題：「天保期の関東取締出役と地域」
講師：淑徳大学アーカイブズ 主任専門員 桜井昭男氏
- 展示解説 ア 10月8日(土) 参加者29人
イ 11月3日(木・祝) 参加者38人
ウ 11月20日(日) 参加者32人
参加者合計 99人



特別展「天保の時代とその世相」(展示)



チラシ(表面)

⑤ さいたま市のうつり変わり与人々の暮らし展

小学校3年生の社会科では、「市の様子の移り変わり」を学習することとなっています。特に「交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人びとの生活の様子を捉え、それらの変化を考える」ことが求められているとともに、博物館や身近な地域での調査・観察等の体験的な学習も一層重視されています。そこで、児童生徒の学習の充実を図るとともに郷土の歴史への興味や関心を高めることを目的として本展を開催しました。

- 会 期 12月6日(火)～2月23日(木・祝) 80日間(開館日数61日) 入館者3,329人
- 構 成
 - 1 135年前くらいの様子与人びとの暮らし
 - 2 85年前くらいの様子与人びとの暮らし
 - 3 35年前くらいの様子与人びとの暮らし
 - 4 20年前くらいの様子与人びとの暮らし
 - 5 現在、そしてこれからのさいたま市
 - 6 昔の学校生活の様子、道具のうつり変わりの様子
 - 7 さいたま市の成り立ちの様子

- 出品点数 300点
- 印刷物 A4判催し案内(54,000枚)
- 関連講座 「昔ふれあい教室」

参加者合計112人

	実施日時	講座名	対 象	参加者数
1	12月17日(土)10時～12時	ぐにゃぐにゃたこづくり	小学生とその保護者	23人
2	1月8日(日)10時～12時	昔の暮らし体験	小学校3年生とその保護者	23人
3	1月14日(土)10時～12時	万華鏡づくり	小学生とその保護者	21人
4	1月28日(土)10時～12時	折り紙教室	小学生とその保護者	19人
5	2月4日(土)10時～12時	動くおもちゃづくり	小学生とその保護者	26人

- イベント 紙芝居とあかりの道具の移り変わり体験(14日間、延べ42回) 見学者617人
※1月7日(土)～2月19日(日)の土・日に実施
- 体験学習 伝承的な遊びの場や道具を提供して使い方を支援するプログラムで、人々の生活の変化を伝える、昔の道具を使った体験ができるプログラムを用意しました。

対 象	プログラム
小学校1・2学年	自転車の紙芝居、影絵ほか
小学校3・4学年	「山かご・てんびんぼう」「石臼・薬研・竿ばかり」ほか

※体験学習参加学校一覧は16頁参照



「さいたま市のうつり変わり与人びとの暮らし展」(展示)



ぐにゃぐにゃたこづくり

⑥ 収蔵品展「近代人の休日 ―余暇と娯楽の明治・大正・昭和―」

「余暇」は、明治時代以降、就業構造や生活の近代化によって生じた概念です。近代の人々が余暇を手に入れたことによって、様々な「娯楽」が盛んとなり、近代文化の形成に大きな影響を与えてきました。本展示では、明治、大正、昭和の時代の、余暇や娯楽に関する収蔵資料から、多くの人々が楽しんだ、いくつかのテーマを取り上げて紹介します。当時の余暇の楽しみ方や、それに対応した娯楽産業のようすを通じて、それぞれの時代の人々の暮らし方や考え方を知り、郷土の歴史についての関心や知識を深めました。

- 会 期 令和5年3月4日(土)～令和5年6月11日(日)100日間(開館日数82日)4,045人
(令和4年度分は3月4日(土)～3月31日(金)28日間(開館日数23日)1,091人)
- 構 成 はじめに 「余暇」と「娯楽」はどのように発展してきたか(解説パネル)
第1章 音楽
第2章 観劇
第3章 行楽
第4章 イベント
おわりに その後の余暇と娯楽
- 出品点数 288点
- 印刷物 A4判チラシ(8,000枚)、A3判ポスター(5,000枚)
- 関連講座 3月12日(日) 14時～16時 参加者15人
演題：「大衆娯楽研究の先駆者 権田保之助」
講師：早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 坂内夏子氏
- 展示解説 3月11日(土) 参加者24人



収蔵品展「近代人の休日」(展示)



チラシ(表面)

(2) 講座・その他事業

① 子どもわくわく体験講座

小・中学生とその保護者を対象に、体験学習やフィールドワークを開催しました。

10講座・参加者313人

	実施日	時間	講座名	講師	参加者数
1	4月29日(祝)	9:30～11:30	土器づくり教室	博物館職員	43人
		13:30～15:30			
2	5月1日(日)	10:00～12:00	折り紙教室	日本折紙学会認定講師 初音みね子氏	20人
3	5月3日(祝)	10:00～15:00	楽しいおもちゃづくり	博物館職員	40人
4	5月5日(祝)	10:00～15:00	鉄道ペーパークラフト	博物館職員	40人
5	5月8日(日)	10:00～15:00	土器の拓本でしおりづくり	博物館職員	22人
6	5月21日(土)	9:30～11:30	大宮第2公園周辺で 春の自然観察をしよう	元上尾市小学校教諭 小川 浩氏	19人
7	6月4日(土)	9:30～11:30	藍染め教室	博物館職員	41人
		13:30～15:30			
8	10月16日(日)	10:00～11:30	秋の自然観察 バッタをつろう	元上尾市小学校教諭 小川 浩氏	27人
9	10月29日(土)	10:00～12:00	藍染め教室	博物館職員	21人
10	11月14日(月)	9:00～12:00	県民の日 楽しいおもちゃをつくらう	博物館職員	40人



大宮第2公園周辺で初夏の自然観察をしよう



藍染め教室

② 藍染体験教室

藍染の伝統的な技法を実際に体験し、藍染について理解と関心を高めてもらうために藍染体験講座を開講しました。

実施日	講座名	講師	参加者数
5月27日(金)、6月3日(金) 2日間 10時00分～15時00分	絞り染めで風呂敷を染めよう	山崎利江氏 (楽布の会 主宰)	各回17人
10月21日(金)、10月28日(金) 2日間 10時00分～15時00分	型染めでエコバッグを染めよう		各回17人

③ さいたま市民大学「歴史コース」

さいたま市の歴史についてより深く学ぶことができるよう、「市民大学」にて講座「歴史コース」を開講しました。令和4年度は、「歴史資料からさいたま市の個性を考える 考古編」というテーマで、旧石器時代～平安時代までの代表的な市内の遺跡や遺物を分析し、原始・古代のさいたま市域の特徴を考えました。

・テーマ：「歴史資料からさいたま市の個性を考える 考古編」

時間：13時30分～15時30分 6回・参加者延べ437人

	実施日	講座名	講師	参加者数
1	10月12日(水)	旧石器時代のさいたま	西井幸雄氏 (株式会社四門)	76人
2	10月19日(水)	縄文時代のさいたま①	小倉均氏 (岩槻郷土資料館指導員)	77人
3	10月26日(水)	縄文時代のさいたま②		70人
4	11月2日(水)	弥生時代のさいたま	柿沼幹夫氏 (さいたま市遺跡調査会会長)	75人
5	11月10日(木)	古墳時代のさいたま	関義則氏 (国士舘大学非常勤講師)	67人
6	11月16日(水)	奈良・平安時代のさいたま	酒井清治氏 (駒澤大学名誉教授)	72人

④ 初級古文書講座

さいたま市内の古文書(検地帳、宗門人別帳等)をテキストにして、郷土の歴史に触れることを目的に、初級の古文書講座を開講しました。

実施日	講師	参加者数
5月26日(木)、6月2日(木)、9日(木)、16日(木)、23日(木)、 7月7日(木) 13時30分～15時30分 全6回	岩下祥子氏 (国士舘大学文学部講師)	延べ166人

⑤ 中級古文書講座

さいたま市内の古文書(村方文書等)をテキストにして、郷土の歴史に触れることを目的に、中級の古文書講座を開講しました。

実施日	講師	参加者数
11月8日(火)、15日(火)、22日(火) 13時30分～15時30分 全3回	島村芳宏氏 (元さいたま市職員)	延べ77人

⑥ ミュージアムヴィレッジ大宮公園

東武アーバンパークライン(野田線)の大宮公園駅を起点とした半径1kmに位置する9施設が、各施設の個性を生かしながら相互に連携する取組です。

ア 大宮公園周辺を巡り歩く!わくわくキーワードラリー

各施設の回遊を促すため、9施設を巡るキーワードラリーを実施しました。

開催期間	内容	参加者数
11月26日(土)～ 2月12日(日)	各加盟館で用紙を配布し、各館を見学して掲示されているキーワードをすべて記入された方に景品を配布	用紙配布53人 景品配布82人

イ 合同展示解説講座

加盟館間の回遊を促すため、さいたま市立博物館、さいたま市立漫画会館の2館で開催中の収蔵品展に関する合同講座を実施しました。

実施日	場 所	内 容	講 師	参加者数
3月25日(土) 13時30分～15時	さいたま市立 漫画会館	(1)収蔵品展「近代人の休日－余暇と娯楽の明治・大正・昭和－」、昭和初期の旅行事情について (2)収蔵品展「楽天の世界漫遊～旅のはじまり、アジア・エジプト・フランス編」、昭和初期の漫画事情について	(1) 市立博物館学芸員 (2) 市立漫画会館学芸員	14人

(3) 学校巡回展

学校教育との連携の一環として小学校の社会科や総合的な学習の時間等に対応した資料提供を行い、博物館の活動に理解を深めてもらうため、市内小学校を対象に巡回展を実施しました。令和4年度は3つのテーマを用意し写真や解説パネル、実物資料などを各小学校の希望に合わせて約1週間の巡回展示を行いました。

① 展示テーマ

テーマ	展示内容	展示資料
大昔のさいたま市	【縄文時代】 さいたま市にもあった海、縄文時代の暮らし、さいたま市の貝塚、縄文時代の衣服と食事 【弥生時代】 弥生時代のさいたま市の概要、さいたま市の主な遺跡、弥生時代の家の様子 【古墳時代】 さいたま市の古墳の概要、市内の古墳の分布、古墳の様子、古墳時代のむらの様子	縄文土器、弥生土器、石器、土器片、貝など
井沢弥惣兵衛と見沼代用水	井沢弥惣兵衛と見沼代用水の概要、見沼通船堀、見沼の伝説	伏せこし、掛けとい、通船堀のいずれかの模型
たていわの暮らし	福島県南会津町館岩の概要、家のづくり、畑や山の仕事、館岩少年自然の家での活動の様子	のこぎり、フカグツ、カンジキ、館岩そば粉など

② 実施校

延べ68校

【テーマ】大昔のさいたま市 (9校)

【担当館】市立博物館

	学校名	設置期間
1	与野南小	5月17日(火)～5月24日(火)
2	常盤小	5月17日(火)～5月24日(火)
3	沼影小	5月24日(火)～5月31日(火)
4	辻南小	5月24日(火)～5月31日(火)
5	河合小	6月2日(木)～6月9日(木)

	学校名	設置期間
6	城南小	6月2日(木)～6月9日(木)
7	野田小	6月16日(木)～6月23日(木)
8	美園小	6月16日(木)～6月23日(木)
9	新開小	6月23日(木)～6月30日(木)

【テーマ】井沢弥惣兵衛と見沼代用水(35校)

	学校名	設置期間
10	柏崎小	9月1日(木)～9月8日(木)
11	徳力小	9月1日(木)～9月8日(木)
12	大久保東小	9月13日(火)～9月20日(木)
13	新和小	9月15日(木)～9月22日(木)
14	宮前小	9月20日(火)～9月27日(火)
15	大宮小	9月27日(火)～10月4日(火)
16	上小小	9月29日(木)～10月6日(木)
17	与野西北小	9月29日(木)～10月6日(木)
18	常盤北小	10月4日(火)～10月11日(火)
19	北浦和小	10月4日(火)～10月11日(火)
20	大久保小	10月6日(木)～10月13日(木)
21	西浦和小	10月6日(木)～10月13日(木)
22	木崎小	10月11日(火)～10月18日(火)
23	芝原小	10月11日(火)～10月18日(火)
24	辻小	10月13日(木)～10月20日(木)
25	三室小	10月18日(火)～10月25日(火)
26	栄小	10月18日(火)～10月25日(火)
27	大谷場東小	10月20日(木)～10月27日(木)

【テーマ】たていわのくらし(24校)

	学校名	設置期間
45	西原小	4月19日(火)～4月26日(火)
46	太田小	4月19日(火)～4月26日(火)
47	春岡小	4月26日(火)～5月10日(火)
48	大砂土小	4月26日(火)～5月10日(火)
49	三橋小	5月10日(火)～5月17日(火)
50	片柳小	5月10日(火)～5月17日(火)
51	宮原小	5月19日(木)～5月26日(木)
52	指扇北小	5月19日(木)～5月26日(木)
53	道祖土小	5月26日(木)～6月2日(木)
54	田島小	5月26日(木)～6月2日(木)
55	仲本小	6月7日(火)～6月14日(火)
56	美園北小	6月7日(火)～6月14日(火)

【担当館】市立博物館、見沼くらしっく館

	学校名	設置期間
28	向小	10月20日(木)～10月27日(木)
29	浦和別所小	10月25日(火)～11月1日(火)
30	下落合小	10月25日(火)～11月1日(火)
31	善前小	10月27日(木)～11月4日(金)
32	大谷場小	10月27日(木)～11月4日(金)
33	鈴谷小	11月1日(火)～11月8日(火)
34	本太小	11月1日(火)～11月8日(火)
35	谷田小	11月8日(火)～11月15日(火)
36	文蔵小	11月8日(火)～11月15日(火)
37	日進北小	11月10日(木)～11月17日(木)
38	つばさ小	11月10日(木)～11月17日(木)
39	植水小	11月10日(木)～11月17日(木)
40	仲町小	11月15日(火)～11月22日(火)
41	七里小	11月15日(火)～11月22日(火)
42	見沼小	11月17日(木)～11月24日(木)
43	春野小	11月17日(木)～11月24日(木)
44	神田小	11月17日(木)～11月24日(木)

【担当館】市立博物館、見沼くらしっく館

	学校名	設置期間
57	大門小	6月16日(木)～6月23日(木)
58	与野本町小	6月21日(火)～6月28日(火)
59	植竹小	6月23日(木)～6月30日(木)
60	島小	9月1日(木)～9月8日(木)
61	慈恩寺小	9月1日(木)～9月8日(木)
62	川通小	9月8日(木)～9月15日(木)
63	和土小	9月8日(木)～9月15日(木)
64	岸町小	9月15日(木)～9月22日(木)
65	土合小	9月15日(木)～9月22日(木)
66	大宮北小	9月27日(火)～10月4日(火)
67	芝川小	9月27日(火)～10月4日(火)
68	大宮別所小	10月4日(火)～10月11日(火)

(4) 体験学習

博学連携の一環として、学校団体の体験学習を実施しました。

① 内容

ア 昔の道具体験

石臼、薬研、あかりの道具のうつり変わり、山かご、天秤棒・てご、洗濯など(主に3年生対象)

イ 昔のおもちゃ遊び

紙風船、紙芝居、影絵など(主に1・2年生対象)

② 実施校

合計29校 延べ31回 参加者3,369人

	実施日	学校名	学年・学級数	参加者数
1	9月16日(金)	美園北小学校	3年5学級	177人
2	9月21日(水)	指扇小学校	3年5学級	150人
3	9月28日(水)	新和小学校	3年1学級	35人
4	9月28日(水)	和土小学校	3年1学級	27人
5	9月30日(金)	大戸小学校	3年3学級	79人
6	10月7日(金)	三橋小学校	3年7学級	224人
7	10月12日(水)	西原小学校	3年3学級	103人
8	10月19日(水)	泰平小学校	3年3学級	107人
9	10月26日(水)	大久保東小学校	3年3学級	97人
10	11月9日(水)	栄小学校	3年3学級	98人
11	11月11日(金)	上落合小学校	3年4学級	141人
12	11月16日(水)	上尾市立原市小学校	3年3学級	106人
13	12月9日(金)	蓮田市立蓮田南小学校	3年4学級	119人
14	12月13日(火)、15日(木)	芝川小学校	3年4学級	136人
15	12月14日(水)	蓮田市立平野小学校	3年1学級	30人
16	12月16日(金)	大宮東小学校	1年3学級	110人
17	1月12日(木)、13日(金)	大宮南小学校	3年5学級	168人
18	1月17日(火)、24日(火)	大宮東小学校	3年4学級	117人
19	1月18日(水)	桜木小学校	3年3学級	92人
20	1月19日(木)、20日(金)	つばさ小学校	3年5学級	184人
21	1月24日(火)	大宮北小学校	3年2学級	42人
22	1月25日(水)、26日(木)	道祖土小学校	3年5学級	168人
23	1月25日(水)	神田小学校	3年2学級	57人
24	1月27日(金)	春岡小学校	3年5学級	168人
25	2月1日(水)	宮前小学校	3年4学級	125人
26	2月3日(金)	植竹小学校	3年4学級	136人
27	2月7日(火)	針ヶ谷小学校	3年4学級	118人
28	2月8日(水)	埼玉大学教育学部附属小学校	3年3学級	109人
29	2月10日(金)	埼玉県特別支援学校大宮ろう学園	3年2学級	13人
30	2月10日(金)	埼玉県特別支援学校大宮ろう学園	1年3学級	16人
31	2月21日(火)	大宮小学校	3年4学級	117人

③ 新型コロナウイルス感染症拡大による中止事業（体験学習）

	実施日	学校名
1	12月7日(水)	太田小学校

(5) 資料貸出

各学校での体験学習等の実施のため、資料の貸出を行いました。

	貸出日	学校名	貸出資料		貸出日	学校名	貸出資料
1	6月6日(月)	与野本町小	土器セットⅠ	4	1月16日(月)	大谷小	白、杵、七輪等
2	6月23日(木)	大宮南小	土器セットⅡ、Ⅲ	5	1月19日(木)	徳力小	七輪、炭壺
3	11月21日(月)	春岡小	もっこ、じょれん等	6	1月27日(金)	日進北小	七輪

(6) 出張講座

① 出張講座の実施

参加者数 271人

	実施日	場 所	対 象	内 容	参加者
1	10月28日(金)	北教育相談室	教育支援センター「はばたき」に通室中及び体験中の児童生徒	勾玉づくり	15人
2	11月20日(日)	大宮南公民館	町内会員	「大宮のはじまり」について	25人
3	11月27日(日)	見沼区役所	一般成人	「見沼区の『かつての名物』 - 赤山洪を中心に -」	29人
4	1月14日(土)	のびのびプラザ 大宮	さいたま市シニアユニバーシティ 北大宮校4期校友会	「さいたま市の歴史について」	10人
5	1月24日(火)	植竹公民館	65歳以上の方	「大宮宿の成り立ちと 中山道の付け替え」	45人
6	1月25日(水)	コムナーレ	さいたま市観光ボランティア・ 浦和ガイド会会員	「大宮県と浦和県」	40人
7	2月8日(水)	大宮東公民館	市内在住・在勤・在学の成人の方	「自然塗料「赤山洪」 ～かつての郷土特産物～」	27人
8	2月12日(日)	大宮東公民館	社会福祉協議会員	「大宮の昔と今」	50人
9	3月18日(土)	寿能町一丁目 集会所	自治会会員	「寿能の昔と今」	30人

(7) 職場体験、実習、研修

① 博物館学芸員実習

博物館学芸員資格取得を目指す大学生を対象に実習を実施しました。(全10日)

- 開講式・講義 7月15日(金) 9時30分～16時30分
- 実 習 7月20日(水)～7月31日(日) 8時30分～17時
- 受 入 数 7人(6大学)

カリキュラム		内 容
講 義	館長講話	地域の博物館としての位置付けや、館のねらい・目的・役割などを学ぶ
	博物館の管理業務	学芸の業務だけではなく、公立館を運営するという側面を認識する
	博物館の事業・展示企画	事業を通して博物館の年間の流れを理解する 展示の準備から開催までの流れを学ぶ
	博学連携	地域の公立博物館と小中学校の関わりや取組を紹介する
実 習	資料の取扱・梱包	資料の取扱や調査、梱包の仕方を学ぶ
	撮影実習	資料調査、資料整理に必要なとなる撮影の技法やアングル等について学ぶ
	解説実習	展示室内の資料について調査し、来館者に分かり易く解説する方法を学ぶ
	展示実習	展示計画を作り、展示キャプション・チラシを作成し、作業の流れを理解する

② 小学校生活科「まちたんけん」受け入れ

小学校2年生活科の学習活動の一環である「まちたんけん」の受け入れを行いました。

10月12日(水) 大宮北小学校2年生 延べ45人

③ さいたま市中学生職場体験

合計10校 延べ11回 22人

	期 間	学校名	学 年	受入数
1	7月5日(火)～7月7日(木)	桜木中学校	2年	2人
2	7月12日(火)～7月13日(水)	木崎中学校	2年	2人
3	8月30日(火)～8月31日(水)	春野中学校	2年	2人
4	9月6日(火)～9月8日(木)	東浦和中学校	2年	2人
5	9月13日(火)～9月15日(木)	大砂土中学校	2年	2人
6	9月13日(火)～9月15日(木)	日進中学校	2年	2人
7	12月7日(水)～12月9日(金)	土呂中学校	2年	2人
8	12月7日(水)～12月9日(金)	春野中学校	1年	2人
9	12月13日(火)～12月15日(木)	植竹中学校	2年	2人
10	1月24日(火)～1月26日(木)	大宮八幡中学校	2年	2人
11	2月8日(水)～2月9日(木)	埼玉大学教育学部附属中学校	1年	2人

④ 教職員研修

ア 令和4年度学習利用説明会（地域学習講座）

博物館の利用や資料貸出しなどの方法を生活科・社会科、総合的な学習の時間主任、学年担当を対象にした説明会

6月8日(水) 参加者25名

イ 令和4年度中堅教諭等資質向上研修「企業等体験研修」(教育研究所主催)

7月21日(木)、22日(金) 2日間 参加者 2人

(8) 資料燻蒸及び館内消毒

収蔵資料の燻蒸及び館内の消毒を行いました。また、作業に伴い、6月30日(木)から7月5日(火)まで臨時休館としました。

- 作業期間 6月30日(木)～7月4日(月)

場 所	目 的	備 考
第1収蔵庫、第2収蔵庫、文献資料室	殺虫、殺卵、殺菌	ガス燻蒸・密閉処理(エキヒュームS)
常設展示室、特別展示室	殺虫、忌避	薬剤噴霧・密閉処理(ミラクンGX)
事務室、工作室、機械室等	衛生害虫防除	空間噴霧(ペルメトリン5%乳液) 薬液散布(フェニトロチオン5%乳剤)

(9) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計

(単位：人)

月	開館 日数	展 示		講 座	その他利用					合計
		常設展示	特別展示		講座室利用	体験学習	実習等	団体	ボランティア	
4月	26日	658	1,102	62	11	-	-	100	37	1,970
5月	23日	973	738	217	9	-	-	-	30	1,967
6月	25日	764	-	169	10	-	25	-	39	1,007
7月	23日	1,597	1,598	520	-	-	99	18	58	3,890
8月	25日	1,574	1,836	257	-	-	8	29	22	3,726
9月	25日	648	476	-	12	468	21	17	39	1,681
10月	26日	958	1,378	140	10	531	67	77	38	3,199
11月	25日	867	1,099	215	37	345	-	67	22	2,652
12月	23日	751	939	23	-	395	18	39	24	2,189
1月	23日	848	1,296	438	-	996	6	-	24	3,608
2月	22日	802	1,017	268	-	634	4	38	20	2,783
3月	26日	700	1,070	39	-	-	-	21	27	1,857
合計	292日	11,140	12,549	2,348	89	3,369	248	406	380	30,529

② 入館者数の推移(過去5年間) 1日平均入館者数は小数点以下切捨て

年度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	292日	30,529人	104人
令和3年度	297日	27,239人	91人
令和2年度※	246日	21,654人	88人
令和元年度※	267日	45,958人	172人
平成30年度	291日	53,166人	182人

※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

③ 展示別入館者数一覧 ※1・5については年度をまたいでの集計※小数点以下切捨て

	名 称	開催期間	開館日数 (日)	来館者数 (人)	1日平均 (人)
1	第34回企画展「自然塗料『赤山洪』 ～かつての郷土特産物～」	令和4年3月5日(土)～ 5月8日(日)	56	3,088	55
2	夏休み子ども博物館	7月16日(土)～8月28日(日)	37	3,481	94
3	第46回特別展「天保の時代とその世相 ～さいたまに残る史料から見た改革～」	10月8日(土)～11月20日(日)	38	2,608	68
4	さいたま市のうつり変わり と人びとの暮らし展	12月6日(火)～ 令和5年2月23日(木・祝)	61	3,329	54
5	収蔵品展「近代人の休日 ～余暇と娯楽の明治・大正・昭和～」	令和5年3月4日(土)～ 6月11日(日)	82	4,045	49

④ 展示室・講座室貸出利用状況

	件数	利用人数	貸出日数	主な目的
講座室	14件	89人	14日	古典読書、古文書勉強会

(10) 刊行物

名称	発行部数
令和3年度さいたま市博物館年報	320部

※展示図録、ちらし等については、各事業の項目に記載

(11) 収蔵資料

① 資料寄贈(8件 94点)

	資料名	点数
1	岩槻城惣絵図	1
2	大宮市鳥瞰図	1
3	アコーディオン	1
4	岩槻古城八景	1

	資料名	点数
5	土地関係文書ほか	37
6	家庭用編機	1
7	翼賛袋	1
8	色紙ほか	51

※4・8は岩槻郷土資料館で収蔵

② 資料寄託(更新4件 1,524点)

	資料名	点数	備考
1	徳本上人書ほか	131	更新
2	文明鰐口	2	更新
3	井上家古文書	930	更新
4	都築家文書	461	更新

③ 資料の利用 ※体験学習用の資料の貸し出しについては別途17頁に掲載

方法	件数	点数
館外利用	31	109

方法	件数	点数
館内利用	18	106

さいたま市立浦和博物館

1. 運営方針

さいたま市立浦和博物館は、浦和の地で生まれ、伝承されてきた歴史・文化を後世に伝えるとともに、学術・文化の発展に寄与し、住民の学習向上に寄与するため、次のような方針で運営します。

- (1) 浦和地域の自然・歴史・民俗・文化等を、資料の収集・保存・展示を通して調査研究を行います。
- (2) 地域に根ざした博物館を目指し、郷土意識の高揚を図るとともに、住民の学習意欲、知的要求に応えられるような博物館であることを心がけます。そのために、住民や関係団体との連携を図り、有効な事業を展開します。
- (3) 見沼に近接して所在するという位置的観点から、見沼についての自然科学的、人文科学的な調査研究を進め、見沼の歴史と文化の解明に資するよう努力します。

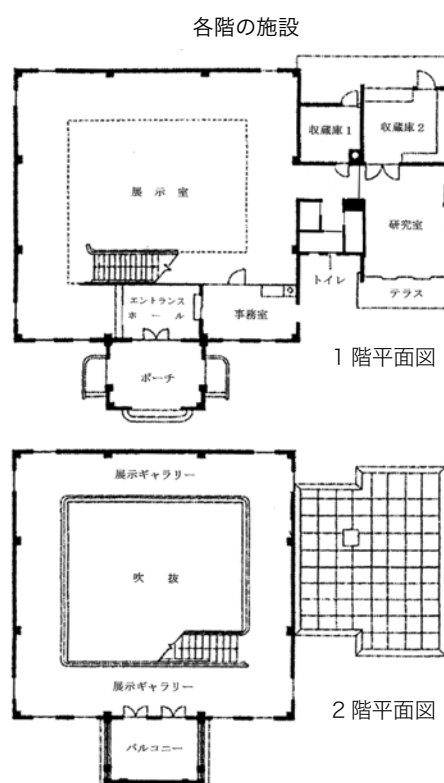
2. 沿革

- 昭和34年(1959) 4月 浦和市仲町(現・浦和区仲町)の玉蔵院二十三夜堂を借用して、浦和市立郷土博物館開館
- 昭和42年(1967) 8月 県営別所沼公園(現在は市営)内の埼玉県立美術館の一室約100㎡を借用して移転
- 昭和46年(1971) 3月 浦和市三室(現・緑区三室)の新館建設のための予算を計上
- 昭和46年(1971) 7月 新館建設工事着手
- 昭和47年(1972) 3月 新館建設工事竣工
- 昭和47年(1972) 6月 浦和市立郷土博物館(現館)開館
- 昭和56年(1981) 3月 博物館登録原簿に登録(埼玉第5号)
- 平成7年(1995) 7月 鴻沼資料館を分館とする
- 平成13年(2001) 5月 3市合併(浦和・大宮・与野市)、さいたま市誕生に伴い「さいたま市立浦和博物館」に改称。併せて鴻沼資料館を浦和くらしの博物館民家園に移管
- 令和2年(2020) 9月 中規模修繕工事着手
- 令和3年(2021) 3月 中規模修繕工事完了
- 令和3年(2021) 7月 リニューアルオープン
- 令和4年(2022) 2月 さいたま市景観重要建造物に指定

3. 施設の概要

(1) 建物と各室の配置、面積

- ① 敷地面積 1,014.86㎡
- ② 建築面積 296.31㎡
- ③ 延床面積 456.29㎡
- ④ 構造 鉄筋コンクリート造り、2階建、屋根鉄骨造、
棧瓦葺き
- ⑤ 建物高 12.8m(地上)
- ⑥ 総工費 48,320,000円
- ⑦ 室名と面積 展示室(289.27㎡)、事務室(14.40㎡)、
ポーチ(42.35㎡)、研究室(33.81㎡)、
トイレ(10.20㎡)、収蔵庫2(17.55㎡)、
収蔵庫1(10.20㎡)、エントランスホール
(14.55㎡)、階段(23.96㎡)



(2) 建物の由来と鳳翔閣

さいたま市立浦和博物館の建物は、明治11年(1878)に建てられた埼玉県師範学校校舎の中央部外観を復元したものです。バルコニーの一部には古材の柱も使われています。

埼玉県師範学校の校舎は、現在の埼玉会館(浦和区高砂3丁目)の地に建てられ、「鳳翔閣(ほうしょうかく)」と名づけられました。校舎として使用する直前の明治11年8月には、北陸東海巡幸の第1日目の行在所として明治天皇が宿泊されています。

明治33年(1900)に埼玉県師範学校は、現在のさいたま市役所の地に移転します。鳳翔閣は新設された埼玉県高等女学校(現・埼玉県立浦和第一女子高等学校)の校舎となり、翌年には埼玉県女子師範学校が新設され、高等女学校を併置しました。そして、鳳翔閣は女子師範学校が大正13年(1924)に現在の埼玉大学教育学部附属中学校(南区别所4丁目)の地に移転するまで使用されました。

その後、旧埼玉会館建築に伴い、鳳翔閣は解体せず北側に曳いて動かし、大正14年(1925)より埼玉県立図書館として再び使用されました。

このように長きにわたり使われてきた鳳翔閣も老朽化には勝てず、昭和34年(1959)に解体されました。それから13年後の昭和47年(1972)、浦和市立郷土博物館の開館にあたり、その建物に鳳翔閣の中央部外観を復元しました。その後、3市合併、さいたま市の誕生による名称変更を経て現在に至っています。

「鳳翔閣」や「鳳翔」という言葉は、埼玉県師範学校のシンボルとして、「ほまれは高し鳳翔閣」と校歌に歌われるなど、移転してからも受け継がれていきました。第二次世界大戦後、埼玉県師範学校は埼玉大学へと変わりましたが、学内に「鳳翔賞」を設けるなど、埼玉大学でも「鳳翔」という言葉が親しまれています。さらに、埼玉県師範学校が埼玉のサッカー発祥の地であり、サッカー文化の基盤となったことから、Jリーグ浦和レッズのエンブレム上部に「鳳翔閣」が描かれるなど、地域のシンボルの一つにもなっています。



浦和博物館外観

4. 令和4年度事業報告

(1) 展示及び関連講座

① テーマ展「さいたまの人々と鉄道」

令和4年(2022)は、新橋～横浜間に鉄道が開通した明治5年(1872)から150年目にあたります。その後、高崎線の開通を契機として多くの鉄道路線網が走るようになり、現在のさいたま市は、全国有数のターミナルとなった大宮駅や、鉄道博物館を市内に抱え、鉄道の街として知られるようになりました。

鉄道開通150年にちなみ、浦和博物館では、「鉄道」をテーマにした様々なイベントや講座、展示などを実施しました。

ア 愉快爽快のびのびシティライブ in 浦和博物館

実施日	演奏者	参加者数
令和4年5月1日(日) 14時～15時30分	yuka氏	28人

イ ミニ展示「ロマンスカーと大山詣」

- 開催期間 令和4年5月1日(日)～令和4年5月31日(火)
31日間(開館日数23日)入館者数586人
- 内容 小田急電鉄のロマンスカー車両模型と大山詣に関する資料の展示

ウ 浦和博物館・ロマンスカーミュージアム小田急コラボ企画 鉄道教室

実施日	演奏者	参加者数
令和4年5月4日(水・祝)、5日(木・祝) 各10時～11時30分、13時～14時30分、 15時～16時30分	小泉季緒氏	103人

エ テーマ展関連講座「さいたまから大山へ」

実施日	演奏者	参加者数
令和4年5月29日(日) 14時30分～16時	野尻靖氏	18人



コラボ企画(鉄道教室)



関連講座(さいたまから大山へ)

オ ミニ展示「埼玉高速鉄道」

- ・開催期間 令和4年6月14日(火)～令和4年8月31日(水)
79日間(開館日数63日)入館者数1,235人
- ・内 容 埼玉高速鉄道の車両基地模型や資料の展示

カ テーマ展関連講演会 各回 13時30分～15時30分

参加者 延べ96人

実施日	講座名	講師	参加者数
令和4年6月24日(金)	埼玉高速鉄道	小沢英幸氏	32人
	武州鉄道大門野田地区の3駅について	石田教治氏	
	大宮停車場の設置	加藤隆榮氏	
令和4年6月25日(土)	外国鉄道アラカルト	青木義脩氏	32人
	大宮工場の設立と発展	小林達氏	
	省線電車開業の歴史	秦野昌明氏	
令和4年6月26日(日)	川越電気鉄道について	古瀬和夫氏	32人
	戦争と大宮駅	山田貴和氏	
	岩槻と鉄道	大島英夫氏	

キ テーマ展「さいたまの人々と鉄道」展示

- ・実施日 令和4年10月18日(火)～令和4年12月11日(日)
55日間(開館日数47日)入館者数1,167人
- ・内 容 明治から令和までの資料を市民の目線で展示
- ・出品点数 約80点(写真パネルを含む)

ク テーマ展関連講座 各回 13時30分～15時 参加者79人

実施日	講座名	講師	参加者数
令和4年10月30日(日)	南浦和駅の開設とその後	青木義脩氏	19人
令和4年11月3日(木・祝)	大宮と鉄道	織本重道氏	22人
令和4年12月3日(土)	武州鉄道	飯山實氏	19人
令和4年12月4日(日)	鉄道の夜明け	鉄道博物館 荒木文宏副館長	19人

ケ 埼玉県民の日企画

実施日	講座名	講師	参加者数
令和4年11月14日(月) 10時～11時30分、13時30分～15時	鉄道を知らう！ 鉄道ペーパークラフト教室	浦和博物館職員	12人

コ テーマ展関連イベント

参加者67人

実施日	場所	講座名	講師	参加者数
令和4年11月23日(水・祝) 14時～15時30分	浦和博物館	オカリナとギターで奏でる 鉄道の歌(コンサート)	大橋治生氏 桑野めぐみ氏	29人
令和4年12月11日(日) 10時～12時	埼玉高速鉄道 浦和美園駅	鉄道教室と 埼玉高速鉄道見学会	埼玉高速鉄道 社員	38人

② 企画展「ちょっと昔のくらし展」

- 開催期間 令和4年12月22日(木)～令和5年2月28日(火)69日間(開館日数50日)1,355人
- 構成
 - あかりの道具、暖房の道具、調理の道具
 - 体験コーナー(薬研、石臼)
 - 1950年代の居間の様子

・関連イベント

参加者637人

	実施日	講座名	講師	参加者数
1	12月22日(木)～2月28日(火) 9時～16時30分	昔の遊び	50日間	432人
2	12月22日(木)～2月28日(火) 9時～16時30分	昔の道具さがし	50日間	205人

(2) 講座・その他事業

① 親子探鳥会

- 実施日 令和4年11月27日(日)9時～12時
- 参加者 32人
- 講師 野鳥の会さいたま 浅見徹氏、石塚敬二郎氏、
石塚真理子氏、廣田純平氏



体験学習

② 「見沼通船堀のしくみ実験」及び「農具・民具から学ぶ昔の知恵」

- 実施日 令和4年11月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)
- 参加者 21人

③ うらはく工芸くらぶ 各回10時～11時30分

延べ16回 参加者158人

実施日	演奏者	参加者数
7月23日(土)、7月24日(日)	うちわづくり	18人
8月20日(土)、8月21日(日)	うちわづくり	23人
9月23日(金・祝)、9月24日(土)	ちぎり絵	28人
10月9日(日)、10月10日(月・祝)	和風コースター	12人
12月17日(土)、12月18日(日)	ランプシェードづくり	27人
1月8日(日)、1月9日(月・祝)	和紙皿づくり	18人
2月11日(土・祝)、2月12日(日)	行灯づくり	18人
3月19日(日)、3月21日(火・祝)	コースターづくり	14人

④ 夏休み子ども博物館講座「まが玉づくり」

- ・実施日 令和4年7月26日(火)、7月27日(水)、7月30日(土)、7月31日(日)
- ・参加者 45人

(3) 体験学習・学校団体見学受入れ

① 体験学習

- ・昔の道具体験 (主に3年生対象)
- ・見沼通船堀の仕組み (主に4年生対象)

② 体験学習実施校一覧

合計7校 延べ13回 参加者660人

	実施日	学校名	学年・学級数	受入数
1	6月7日(火)	さとえ学園小学校	4年3学級	81人
2	11月10日(木)	春日部市立武里西小学校	4年3学級	103人
3	11月11日(金)	春日部市立桜川小学校	4年3学級	103人
4	11月18日(金)	河合小学校	3年1学級	26人
5	1月20日(金)	芝原小学校	3年4学級	116人
6	2月28日(火)	三室小学校	3年4学級	151人
7	3月14日(火)	浦和ルーテル学院小学校	3年3学級	80人



体験学習 (炭火アイロン)



体験学習 (通船堀の仕組み)

(4) 出張講座

① 出張講座の実施

参加者68人

	実施日	場 所	対 象	内 容	参加者
1	10月14日(金) 14時～15時	プラザイースト	シニアユニバーシティ 第4期校友会	さいたま市の歴史 ～浦和博物館の資料を中心に～	32人
2	11月10日(木) 13時50分～14時35分	和土小学校	4年生	「見沼通船堀の仕組み」 「農具・民具から学ぶ昔の知恵」	30人
3	1月13日(金) 14時30分～16時	東浦和図書館	中学生以上	鳳翔閣とさいたまの教育	6人

※3は浦和博物館と東浦和図書館の連携講座として実施

(5) 職場体験、実習、研修

① 博物館学芸員実習

博物館学芸員資格取得を目指す大学生を対象に10日間の実習を実施しました。

- ・開講式・講義 7月15日(金) 9時～17時(市立博物館にて合同で実施)
- ・実 習 7月22日(金)～24日(日)・26日(火)～31日(日) 8時30分～17時
(補講 8月20日(土))
- ・受 入 数 3人(3大学)

カリキュラム		内 容
講 義	館長講話	地域の博物館としての位置付けや、館のねらい・役割などを学ぶ
	博物館の管理業務	学芸業務だけではなく、公立館を運営するという側面を認識する
	博物館の事業・ 展示企画	事業を通して博物館の年間の流れを理解する。 展示の準備から開催までの流れを知る
	博学連携	地域の公立博物館と小中学校の関わりや取り組みを紹介する
実 習	資料の取扱・梱包	資料の取扱や調査、整理、梱包の仕方を学ぶ
	講座補助・講座実習	講座の準備や補助を行い、来館者への接し方を学び、講座担当実習する
	展示実習	展示計画及びキャプション作成など作業の流れを理解する

② さいたま市中学生職場体験「未来くるワーク」

合計2校 5人

期 間	学校名	学 年	受入数
7月12日(火)～13日(水)	木崎中学校	2年	3人
2月8日(水)～9日(木)	埼玉大学教育学部附属中学校	1年	2人

③ 教員研修

ア 令和4年度中堅教諭等資質向上研修「企業等体験研修」(教育研究所主催)

- ・実 施 日 令和4年8月19日(金)、8月23日(火) 合計2日間
- ・受 入 数 1名
- ・実施内容 受付補助、講座準備、収蔵資料整理

(6) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計 6,739人

月	開館日数	展 示		講 座	その他利用		合計
		個人	団体		体験学習	実習等	
4月	26日	590	35	-	-	-	625
5月	23日	420	17	149	-	-	586
6月	26日	335	51	96	81	-	563
7月	23日	327	11	99	-	32	469
8月	25日	400	25	23	-	3	451
9月	25日	331	19	28	-	-	378
10月	26日	405	74	31	-	-	510
11月	25日	305	49	116	232	-	702
12月	23日	343	39	65	-	-	447
1月	23日	476	61	18	116	-	671
2月	22日	333	67	18	151	4	573
3月	26日	596	74	14	80	-	764
合計	293日	4,861	522	657	660	39	6,739

※令和4年度は入館者のほか、館外(浦和美園駅)でイベントを実施し、38人が参加しました。

② 入館者数の推移(過去5年間) 1日平均入館者数は小数点以下切捨て

年度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	293日	6,739人	23人
令和3年度※	224日	5,514人	24人
令和2年度※	26日	197人	7人
令和元年度※	273日	12,813人	46人
平成30年度	296日	13,623人	46人

※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

※中規模改修工事のため、令和2年7月1日から令和3年6月30日まで臨時休館

(7) 刊行物

① 浦和博物館館報「あかんさす」

A4判4頁、1,500部印刷 第120号 令和5年3月発行

令和4年の浦和博物館テーマ展について取り上げ、実施した展示、イベントの内容を紹介しました。また、第119号の続きとして、幕末期まで三室村の名主役を務めた武笠家に関する資料から武笠祐二左衛門・銀助親子について、明治維新以降の動向を取り上げました。

(8) 収蔵資料

① 寄贈資料

	資料名	点数
1	「第一次伊藤内閣」学生聯盟本部発行	1
2	大日本行程大絵図	1

② 資料の利用(22件・162点)

区分	件数	点数
館内利用	6件	76点
館外利用	16件	86点

浦和くらしの博物館民家園

1. 運営方針

さいたま市内に残る伝統的な古建築を移築復原し、あわせて民俗資料を収集、保存、展示する施設を持つ野外博物館です。建物や資料を公開するとともに伝統行事等を催し、地域文化の保存伝承につとめ、市民文化の向上、発展、郷土意識の高揚を図ることを目的としています。

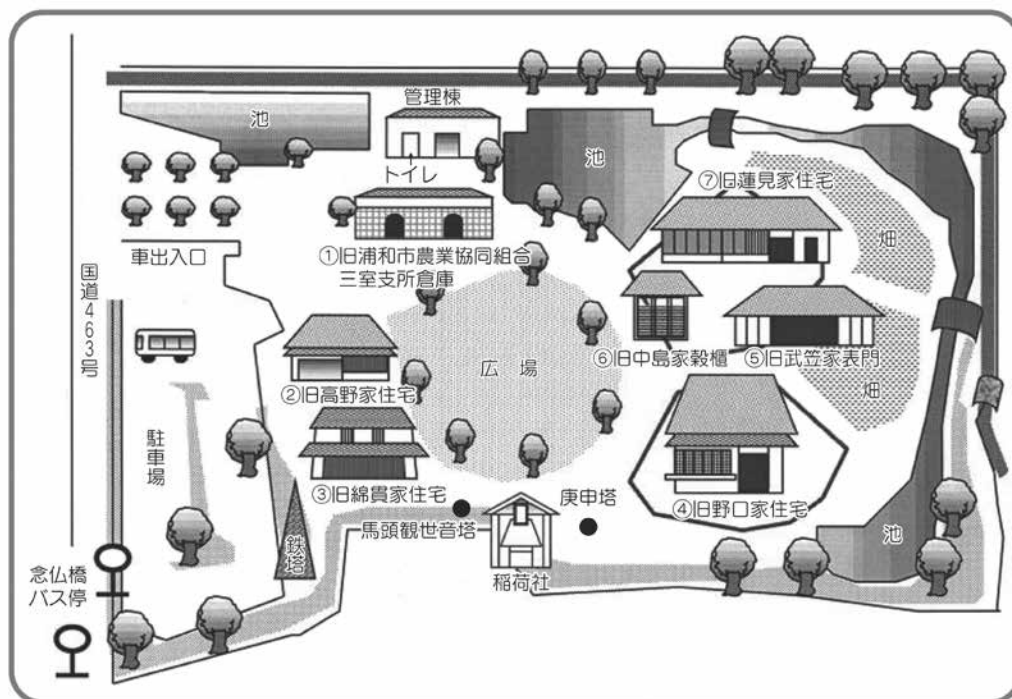
2. 沿革

- | | |
|----------------|--|
| 昭和62年(1987) 3月 | 基本構想(設計)策定 |
| 4月 | 見沼開発許可 |
| 平成4年(1992) 3月 | 基本設計 |
| 平成5年(1993) 3月 | 実施設計、用地取得(再取得) |
| 平成6年(1994) 3月 | 管理棟竣工、旧蓮見家住宅復原 |
| 平成7年(1995) 3月 | 旧浦和市農業協同組合三室支所倉庫復原、旧武笠家表門、旧中島家穀櫃復原 |
| 4月 | 開館 |
| 平成9年(1997) 3月 | 博物館登録原簿に登録(埼玉第17号) |
| 平成11年(1999) 3月 | 旧野口家住宅復原 |
| 平成13年(2001) 5月 | 3市合併(浦和・大宮・与野市)、さいたま市誕生に伴い、鴻沼資料館を浦和博物館から移管 |
| 平成15年(2003) 3月 | 旧綿貫家住宅復原 |
| 平成17年(2005) 3月 | 旧高野家住宅復原 |
| 平成23年(2011) 4月 | 組織改編により、博物館に再編されるのに併せ、見沼くらしっく館を移管 |
| 平成31年(2019) 4月 | 隣接民有地建物火災の類焼により旧高野家住宅の茅葺屋根が損傷 |
| 令和元年(2019)10月 | 台風19号により隣接する1級河川芝川が溢水し、園内全体が浸水。管理棟及び園内の移築復原建物すべてが床上または床下浸水。被害復旧を中心に修繕を実施 |
| 令和3年(2021)12月 | 突風により、旧蓮見家住宅の茅葺屋根の一部(グシ)が損傷 |

3. 施設の概要

(1) 敷地面積

16,833.27㎡



園内配置図

(2) 建 物

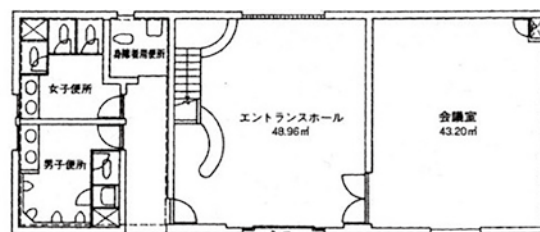


旧蓮見家住宅外観

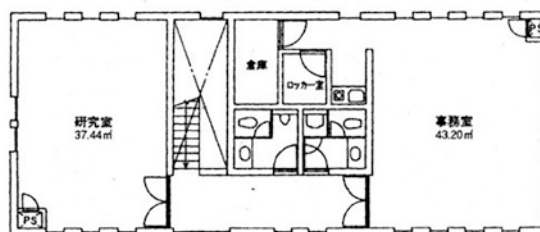


旧武笠家表門外観

- ①旧浦和市農業協同組合三室支所倉庫（展示室、収蔵庫）（国登録文化財・平成9年7月15日登録）
大谷石土蔵造りおよび木造、寄棟土居葺屋根、平屋建て／建築面積 197.31㎡
- ②旧高野家住宅（さいたま市指定有形文化財・平成13年2月27日指定）
出桁造り、木造、寄棟茅葺屋根、平屋建て／建築面積 78.64㎡
- ③旧綿貫家住宅（さいたま市指定有形文化財・平成12年3月28日指定）
塗屋造り、木造、漆喰壁、切妻棧瓦葺屋根、二階建て／面積 46.17㎡／延床面積 84.12㎡
- ④旧野口家住宅（さいたま市指定有形文化財・平成10年3月10日指定）
木造、寄棟茅葺屋根、土壁、平屋建て／建築面積 127.53㎡
- ⑤旧武笠家表門（さいたま市指定有形文化財・平成6年4月28日指定）
木造、寄棟茅葺屋根、土壁、平屋建て／建築面積 62.61㎡
- ⑥旧中島家穀櫃
木造、寄棟茅葺屋根、平屋建て／建築面積 3.32㎡
- ⑦旧蓮見家住宅（さいたま市指定有形文化財・昭和49年5月31日指定）
木造、寄棟茅葺屋根、土壁、平屋建て／建築面積 103.43㎡
- ⑧管理棟（事務室、研究室、会議室、エントランスホール）
鉄筋コンクリート二階建て／建築面積 146.4㎡／延床面積 250.34㎡



1 階



2 階

管理棟平面図

4. 令和4年度事業報告

(1) 展 示

① 常設展示「うつりかわる暮らし～小学3年生集まれ！」

- 会 場 展示室 通年 入館者2,560人
- 内 容 小学3年生の社会科で学習する「うつりかわる暮らし」に
合わせ、収蔵資料や解説パネルで展示を行い、民家園体
験学習についても紹介をしました。
- 構 成 I 暖をとる道具 II あかりの道具
III 粉にする道具 IV 昔のお店の道具
V 米作りの道具 VI 物を運ぶ道具
VII ちょっと昔の昭和の道具
- 展示点数 70点



常設展示風景

② ミニ企画展「写真で見るタデアイの一年」

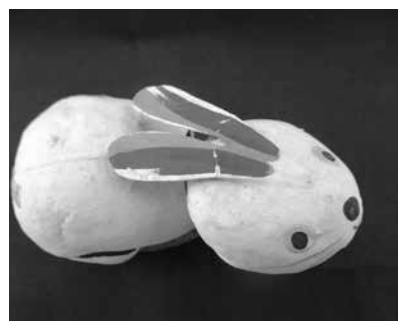
- 会 期 5月3日(火・祝)～7月24日(日)
83日間(開館日数69日)入館者636人
- 会 場 展示室
- 内 容 古くから利用され、その色や藍染めの衣料などがなじみの深いものの、植物としてはあまり知られていない「タデアイ」。園内で栽培している記録写真を中心に、植物としてのタデアイの一年を紹介しました。
- 展示点数 写真10点 資料2点

③ 写真で見る古民家の復原～旧高野家住宅～

- 会 期 7月26日(火)～9月25日(日) 62日間
(開館日数53日)入館者417人
- 会 場 展示室
- 内 容 旧高野家住宅の移築・復原した様子を写真で紹介しました。
- 展示点数 写真20点、資料5点

④ ミニ企画展「兎の郷土玩具」

- 会 期 12月20日(火)～2月5日(日) 48日間
(開館日数35日)入館者317人
- 会 場 展示室
- 内 容 令和5年の干支の卯にちなみ、兎の収蔵資料(郷土玩具)を
展示し紹介しました。
- 展示点数 資料36点



展示資料 下総柏張り子 首振り兎

⑤ ミニ企画展「小さな雛人形」

- 会 期 2月7日(火)～3月5日(日) 27日間
(開館日数22日)入館者273人
- 会 場 展示室
- 内 容 3月3日の節句に合わせて、雛人形の収蔵資料(郷土玩具)を展示し紹介しました。
- 展示点数 16点

⑥ ミニ企画展「見沼の虫たち」

- 会 期 3月25日(土)～6月4日(日)72日間(開館日数59日)入館者602人
(令和4年度分は3月25日(土)～31日(金)7日間(開館日数6日)入館者51人)
- 会 場 展示室
- 内 容 見沼に生息するチョウ、セミ、トンボ、甲虫類を標本で紹介しました。
- 展示点数 標本箱8点

⑦ 季節展示

	開催期間	内 容	場 所
1	4月9日(土)～5月8日(日)	端午の節句／兜飾り	旧蓮見家住宅
2	8月6日(土)～8月17日(水)	七夕飾り	旧蓮見家住宅・ロビー
3	9月7日(水)～9月15日(木)	十五夜のお供え	旧野口家住宅
4	10月5日(水)～10月13日(木)	十三夜のお供え	旧野口家住宅
5	1月9日(月・祝)～1月22日(日)	小正月の繭玉飾り	旧野口家住宅・旧蓮見家住宅・ロビー
6	2月7日(火)～3月5日(日)	桃の節句／雛飾り	旧野口家住宅・旧蓮見家住宅



端午の節句／兜飾り



十三夜のお供え

(2) 講座

① 季節・体験行事 (講師：職員、ボランティア) 参加者54人

	実施日時	講座名	参加者数
1	8月6日(土) 9時30分～11時30分	七夕馬づくりの公開と 七夕飾りづくり	—
2	11月14日(月) 10時～11時30分	県民の日講座 「昔の遊びを体験しよう！」	8人
3	1月9日(月・祝) 9時30分～11時30分	小正月の繭玉づくり	8人
4	1月15日(日) 9時30分～11時30分	昔のくらし体験講座 「昔の道具を使ってみよう」	17人
5	2月18日(土) 9時30分～11時30分	昔のくらし体験講座 「昔の道具を使ってみよう」	21人



昔のくらし体験講座

② 子ども農作業体験講座 (講師：職員、ボランティア) 時間：9時30分～11時30分 参加者115人

	実施日	内容	参加者数
1	4月9日(土)	概要説明、じゃがいも種芋植付、枝豆蒔種、畝作り	24人
2	4月23日(土)	里芋(見沼1号、大宮1号)・ハツ頭種芋植付、除草	17人
3	5月21日(土)	さつまいも(紅赤)、きゅうり(落合節成)植付、除草	18人
4	7月9日(土)	きゅうり、じゃがいも、枝豆収穫 ねぎ(岩槻ねぎ)植付、除草	24人
5	9月3日(土)※	大根蒔種、畝作り、除草	—
6	10月22日(土)	さつまいも収穫	15人
7	11月26日(土)	里芋・ハツ頭・大根収穫	17人

※荒天のため中止。後日職員が作業実施



子ども農作業体験講座

③ 昔のあそび塾 (講師：職員、ボランティア) 参加者302人

	実施日 (各回13時～15時)	内容	参加者数
1	4月3日(日)	ビー玉・おはじきとケンパ	11人
2	5月1日(日)※	輪ころがしとすごろく	7人
3	6月5日(日)	石蹴りとあやとり	16人
4	7月3日(日)	ゴム跳びと輪投げ	22人
5	8月7日(日)	水鉄砲とめんこ	27人
6	9月4日(日)	水鉄砲とお手玉	35人
7	10月2日(日)	まりつきと紙飛行機	25人
8	11月6日(日)	長なわとびと将棋くずし	27人
9	12月4日(日)	羽根つきとコマ回し	24人
10	1月8日(日)	凧揚げと福笑い	31人
11	2月5日(日)	缶ぽっくりとかるた	43人
12	3月5日(日)	竹馬とけん玉	34人

※さいたま市民の日講座を兼ねて実施



昔のあそび塾
4月 ビー玉・おはじきとケンパ

④ 民家園しぜん塾 (講師：ボランティア)

時間：13時30分～15時30分 参加者62人

	実施日	内 容	参加者数
1	4月2日(土)	春の食べられる野草を見つけよう	20人
2	6月4日(土)	民家園生きものみつけ～外来種を抜こう～	9人
3	8月6日(土)	バッタ選手権	11人
4	10月1日(土)	落ち葉でアート～落ち葉集めをしよう	3人
5	12月3日(土)	自然素材でリースや部屋飾りを作ろう	6人
6	2月4日(土)	竹を切ってMyクラフト作り	13人

⑤ もの作り講座

参加者73人

	実施日時	講座名	講 師	参加者数
1	5月5日(木・祝) 9時30分～11時30分	こどもの日講座 「竹ぼっくりを作って遊ぼう！」	職員、ボランティア	10人
2	5月7日(土) 9時30分～11時30分	母の日講座「コースターとお菓子入れ」 を作ってプレゼントしよう	職員、ボランティア	中止
3	6月18日(土) 9時30分～11時30分	父の日の贈り物「竹のくつべら作り」	職員、ボランティア	10人
4	8月24日(水) 9時30分～11時30分	竹工芸講座「花籠を編む」	職員、ボランティア	5人
5	9月17日(土) 9時30分～11時30分	敬老の日講座「孫の手を作ろう」	職員、ボランティア	8人
6	11月20日(日)・27日(日) 9時30分～12時	手漉き和紙講座 「和紙で作る一閑張菓子皿」(全2回)	谷野裕子氏	延べ13人
7	12月17日(土) 9時30分～11時30分	凧作り講座「和凧を作って揚げよう」	職員、ボランティア	7人
8	12月21日(水) 9時30分～11時30分	竹工芸講座「竹の正月飾り」	職員、ボランティア	5人
9	3月4日(土) 9時30分～11時30分	竹のおもちゃ作り講座	職員、ボランティア	15人

⑥ 自然観察会 (講師：齋藤良夫氏) 時間：9時～12時 参加者30人

	実施日時	講座名	参加者数
1	4月17日(日)	春の見沼を歩こう！	12人
2	11月3日(木・祝)	秋の見沼を歩こう！	18人



手漉き和紙講座
「和紙で作る一閑張菓子皿」



竹工芸講座「竹の正月飾り」



秋の見沼を歩こう！

⑦ 夏休み子ども講座 (講師：職員、ボランティア、博物館実習生、中堅教諭等資質向上研修受講者)

時間：9時30分～11時30分 参加者150人

	実施日	講座名	参加者数
1	7月21日(木)	竹で作る水でっぼう①	10人
2	7月22日(金)	竹で作る水でっぼう②	14人
3	7月23日(土)	藍の生葉染めのハンカチ①	10人
4	7月24日(日)	藍の生葉染めのハンカチ②	11人
5	7月27日(水)	竹で作るクワガタ虫	11人
6	7月28日(木)	竹で作る貯金箱①	11人
7	7月29日(金)	竹で作る貯金箱②	8人
8	7月30日(土)	竹で作る箸と食器	11人
9	7月31日(日)	ガリガリふしぎプロペラ	12人
10	8月2日(火)	布で作るぞうり	9人
11	8月4日(木)	竹で作るゴムでっぼう①	9人
12	8月5日(金)	竹で作るゴムでっぼう②	14人
13	8月9日(火)	竹ぽっくりと鉛筆立て①	10人
14	8月10日(水)	竹ぽっくりと鉛筆立て②	10人



藍の生葉染めのハンカチ



竹ぽっくりと鉛筆立て

(3) 体験学習、団体見学・利用受入れ

① 体験学習

学校教育支援のため、小学生の博物館活用に積極的に取り組みました。

ア 体験学習プログラム (1プログラム 約15分/1グループ)

	プログラム	内容	会場
1	石臼・薬研の話と実演	昔の家と今の家のつくりとくらしの違いを学習し、石臼・薬研など昔の生活道具を学ぶ。	旧蓮見家住宅
2	箕・唐箕の話と実演	箕や唐箕の仕組みを学び、昔の道具の工夫やお米について学習する。	旧武笠家表門
3	天秤棒・大籠・しよいこの話と実演	昔の「ものを運ぶ道具」を学習し、昔の道具の工夫や知恵を学ぶ。	園内畑周辺
4	昔の店と今の店の話、秤の話と実演	昔のお店と今のお店の違いを学習し、実際に商家で使われていた秤で重さを量る様子を学ぶ。	旧綿貫家住宅



旧綿貫家住宅での体験の様子

イ 体験学習実施学校等一覧

合計40校 延べ58回 参加者5,252人

	実施日	学校名	学年・学級数	参加者数
1	5月25日(水)	文蔵小学校	3年3学級	109人
2	6月23日(木)	東宮下小学校	3年1学級	25人
3	6月24日(金)	中島小学校	3年2学級	73人
4	9月1日(木)	土合小学校	3年5学級	154人
5	9月2日(金)	大砂土東小学校	3年7学級	221人
6	9月8日(木)	大東小学校	3年3学級	110人

	実施日	学校名	学年・学級数	参加者数
7	9月9日(金)	常盤小学校	3年6学級	199人
8	9月16日(金)	本太小学校	3年5学級	161人
9	9月22日(木)	大谷小学校	3年6学級	210人
10	9月30日(金)	上里小学校	3年2学級	51人
11	10月6日(木)	南浦和小学校	3年4学級	148人
12	10月7日(金)	常盤北小学校	3年2学級	51人
13	10月7日(金)	城北小学校	3年4学級	125人
14	10月12日(水)	上小小学校	3年3学級	90人
15	10月14日(金)	仲本小学校	3年5学級	171人
16	10月18日(火)	善前小学校	3年3学級	109人
17	10月20日(木)	下落合小学校	3年4学級	136人
18	10月21日(金)	西浦和小学校	3年4学級	136人
19	10月26日(水)	指扇北小学校	3年5学級	157人
20	10月27日(木)	大宮別所小学校	3年4学級	136人
21	11月1日(火)	大成小学校	3年5学級	159人
22	11月2日(水)	春日部市立桜川小学校	3年3学級	92人
23	11月8日(火)	海老沼小学校	3年3学級	110人
24	11月8日(火)	川口市立樋ノ爪小学校	3年1学級	41人
25	11月9日(水)	馬宮東小学校	3年2学級	81人
26	11月10日(木)	宮原小学校	3年6学級	195人
27	11月15日(火)	田島小学校	3年3学級	91人
28	11月17日(木)	新座市立片山小学校	3年3学級	196人
29	11月18日(金)	越谷市立出羽小学校	3年4学級	125人
30	11月25日(金)	岸町小学校	3年4学級	127人
31	11月30日(水)	辻小学校	3年3学級	96人
32	12月8日(木)	浦和大里小学校	3年5学級	165人
33	12月13日(火)	越谷市立越ヶ谷小学校	3年4学級	130人
34	1月17日(火)	美園小学校	3年5学級	173人
35	1月19日(木)	大谷口小学校	3年4学級	126人
36	1月26日(木)	浦和別所小学校	3年7学級	227人
37	1月31日(火)	大門小学校	3年4学級	123人
38	2月2日(木)	川口市立飯塚小学校	3年3学級	96人
39	2月16日(木)	川口市立里小学校	3年4学級	128人
40	3月2日(木)	尾間木小学校	3年6学級	199人

② 団体見学・利用受入れ

(110件 2,294人)

月	主な内容	件数	受入者数
4月	スケッチグループ、浦和特別支援学校高等部、川越いきいきクラブ ほか	8件	86人
5月	デイサービス、スケッチグループ、ボーイスカウト、特別支援学校 ほか	9件	121人
6月	絵画グループ、ボーイスカウト、ランニンググループ、三室中学校2年生 ほか	11件	326人
7月	川口北高校1年生、木崎小学校3年生、デイサービス、スケッチクラブ ほか	15件	359人
8月	ボーイスカウト ほか	9件	75人
9月	サイクリンググループ、写真グループ、三室小学校3年生 ほか	5件	171人
10月	野鳥の会、川口市立根岸小4年生、蕨市歩こう会、大牧小学校1年生 ほか	14件	373人
11月	松伏小学校3年生、川口市立飯仲小学校3年生 ほか	6件	255人
12月	埼玉ウォーキング協会、植物愛好会、バードウォッチング ほか	5件	121人
1月	青木リハビリセンターさいたま、おぶさとそだちの森幼稚園 ほか	12件	157人
2月	野鳥観察グループ、けやき教室 ほか	4件	59人
3月	養護施設たんぽぽ、ひの山歩きの会 東所沢長生き会 ほか	12件	191人

(4) 出張講座

	実施日時	場 所	対 象	内 容	参加者数
1	1月27日(金) 9時50分～10時50分	浦和ふれあい館	シニアユニバーシティ 北浦和校第16期校友会	さいたま市域の歴史講座	18人

(5) 職場体験、実習、研修

① さいたま市中学生職場体験

合計2校 6人

	期 間	学校名	学 年	受入数
1	9月6日(火)～8日(木)	東浦和中学校	2年	3人
2	11月1日(火)・2日(水)	美園南中学校	2年	3人

② 博物館学芸員実習

博物館学芸員資格取得を目指す大学生を対象に実習を実施しました。

- ・開講式・講義 7月15日(金)9時～17時(市立博物館にて合同で実施)
- ・実 習 7月20日(水)～24日(日)・26日(火)～29日(金) 8時30分～17時
(補講 8月16日(火)～19日(金)・24日(水)・25日(木))
- ・受入数 3人(3大学)

	カリキュラム	内 容
講 義	館長講話	地域の博物館としての位置付けや、館のねらい・役割などを学ぶ
	博物館の管理業務	学芸業務だけではなく、公立館を運営するという側面を認識する
	博物館の事業・ 展示企画	事業を通して博物館の年間の流れを理解する。 展示の準備から開催までの流れを知る
	博学連携	地域の公立博物館と小中学校の関わりや取り組みを紹介する
	ボランティア活動	民家園におけるボランティア活動の取り組みを紹介する
実 習	資料の取扱・梱包	資料の取扱や調査、梱包の仕方を学ぶ
	講座補助	講座の準備や補助を行い、来館者への接し方を理解する
	解説実習	古民家について調査し、来館者に分かり易く解説する方法を学ぶ
	展示実習	展示計画からキャプション作成・資料展示を行い作業の流れを理解する
	園内整備	野外博物館としての特性・展示空間整備について実践し学ぶ

③ 研修受入れ

	期 間	内 容	受入数	主催
1	4月7日(木)	さいたま市新規採用職員研修	16人	人材育成課
2	4月12日(火)	さいたま市新規採用職員研修	13人	人材育成課
3	8月4日(木)・ 5日(金)	令和4年度中堅教諭等資質向上研修「企業等体験研修」	4人	教育研究所

(6) ボランティア活動

平成17年6月から市民参加型の博物館経営の一つとしてボランティアを導入し、事業実施の補助活動を行っています。

- 令和4年度登録人数 28人
- 主な活動内容
 - 1 園内整備 …畑作業、池の整備、落葉かき、移築民家の清掃、季節行事の再現等
 - 2 講座・展示 …材料の準備、試作、指導、展示準備等
 - 3 体験学習 …道具の補修・製作、研修会、指導、団体対応等

① 月別ボランティア活動数 [単位：回、()は参加者数]

月	園内整備	講座・展示	体験学習	計
4月	4(31)	8(51)	-	12(82)
5月	1(5)	5(28)	2(36)	8(69)
6月	4(21)	5(23)	2(32)	11(76)
7月	1(7)	16(87)	-	17(94)
8月	-	11(61)	-	11(61)
9月	1(5)	5(22)	12(107)	18(134)
10月	-	5(18)	16(140)	21(158)
11月	2(12)	8(38)	13(120)	23(170)
12月	3(29)	6(31)	4(34)	13(94)
1月	3(16)	4(23)	6(58)	13(97)
2月	5(34)	5(27)	2(23)	12(84)
3月	3(14)	3(10)	3(39)	9(63)
計	27(174)	81(419)	60(589)	168(1,182)



旧綿貫家住宅三和土補修

(7) 民家保存及び園内整備

① 樹木及び緑地の維持管理

園内の美観、来館者の安全を目的として樹木及び緑地の維持管理を通年で実施しています。

【民家園】

	内容	回数	時期
1	除草(機械及び手刈り)	5回	5～9月
2	樹木剪定 (低木・中木・高木・生垣)	4回	6、9、11、12月
3	生垣及び 低中木病害虫駆除	2回	5、8月

【旧高野家離座敷】

	内容	回数	時期
1	低木剪定及び手刈り除草	5回	5～9月
2	生垣剪定	1回	9月
3	生垣病害虫駆除	2回	5、8月

② 民家園及び園内の修繕

	期間	件名・内容
1	5月30日(月)～6月30日(木)	民家園旧中島家穀櫃自動火災報知設備修繕
2	9月26日(月)	民家園自動給水ユニット応急修繕
3	11月10日(木)～3月22日(水)	民家園自動給水ユニット交換修繕

(8) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計

(単位：人)

月	開館 日数	展 示	講 座	その他利用					一般 入館者数	計
				体験学習	職場体験 実習等	団体対応	ボラン ティア	園内利用 団体		
4月	26日	255	84	-	-	29	82	86	5,029	5,565
5月	23日	246	35	109	-	-	69	121	3,819	4,399
6月	26日	176	35	98	-	-	76	326	3,197	3,908
7月	27日	266	144	-	21	-	94	359	4,910	5,794
8月	25日	234	95	-	14	-	61	75	4,133	4,612
9月	25日	155	43	1,106	9	-	134	171	2,734	4,352
10月	26日	212	43	1,259	-	-	158	373	4,439	6,484
11月	25日	208	83	1,313	6	-	170	255	4,561	6,596
12月	23日	138	42	295	-	-	94	121	2,772	3,462
1月	23日	215	56	649	-	-	97	157	3,391	4,565
2月	22日	229	77	224	-	-	84	59	3,240	3,913
3月	26日	226	49	199	-	-	63	191	3,902	4,630
計	297日	2,560	786	5,252	50	29	1,182	2,294	46,127	58,280

② 入館者数の推移 (過去5年間) 1日平均入館者数は小数点以下切捨て

年 度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	297日	58,280人	196人
令和3年度	301日	55,816人	185人
令和2年度 ※1	251日	41,181人	164人
令和元年度 ※1・2	262日	54,974人	209人
平成30年度	296日	56,184人	189人

※1 新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

※2 被災により4月2日、10月12日から23日まで臨時休館

(9) 刊行物

名称	発行部数	寸法等
民家園小・中学生向けガイドマップ	7,500部	B4判、1色刷り、観音折

(10) 収蔵資料

① 資料の利用 (7件・15点)

区 分	件 数	点 数
館内利用	2件	2点
館外利用	5件	13点

旧坂東家住宅見沼くらしっく館

1. 運営方針

さいたま市指定文化財「旧坂東家住宅」は、伝統的な農家の暮らしを再現公開するために復原した古民家で、主屋内の見学ができます。また、展示以外にも講座・体験学習・年中行事を実施することで地域文化の継承を推進するとともに、地域への理解と愛着育成も同時に推進しています。

2. 沿革

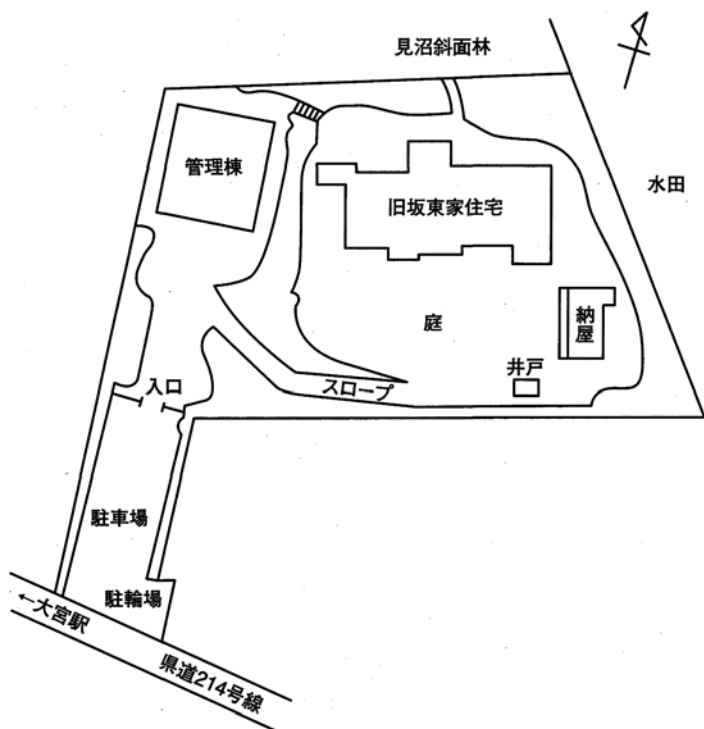
平成3年(1991)10月
 平成4年(1992)9月
 平成4年(1992)11月～5年(1993)3月
 平成5年(1993)3月～4月
 平成7年(1995)2月～8年(1996)3月
 平成8年(1996)4月
 平成16年(2004)9月～17年(2005)1月
 平成22年(2010)2月
 平成23年(2011)2月
 平成30年(2018)5月
 平成31年(2019)2月

大宮市指定有形文化財(建造物)「旧坂東家住宅」として指定
 「旧坂東家住宅」寄付採納
 解体工事
 発掘調査
 復原工事
 『旧坂東家住宅見沼くらしっく館』開館
 茅葺屋根差茅(北側及び東側)等修繕
 公衆用道路に一部移管
 茅葺屋根差茅(北側)修繕
 茅葺屋根差茅(南側)修繕
 茅葺屋根差茅(北側谷部)修繕

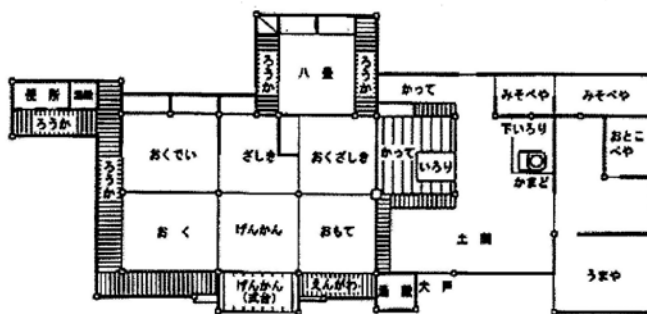
3. 施設の概要

(1) 建物と各室の配置、面積

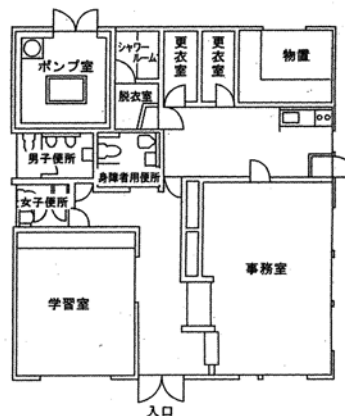
敷地面積 2,661.07㎡



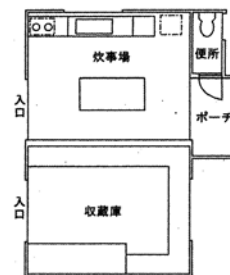
配置図



市指定文化財「旧坂東家住宅」平面図



管理棟平面図



納屋平面図

(2) 各棟の配置、面積、構造

区 分		延床面積	構 造
主 屋	市指定文化財「旧坂東家住宅」	285.77㎡	木造茅葺土壁平屋建（一部2階）
管理棟	事 務 室	150.71㎡	木造平屋建日本瓦葺
	学 習 室		
	シャワールーム		
納 屋	炊 事 場	34.78㎡	
	収 蔵 庫		
計		471.26㎡	

4. 令和4年度事業報告

(1) 季節展示

	開催期間	内 容
1	4月23日(土)～5月5日(木・祝)	端午の節句／兜飾り・鯉のぼり・軒菖蒲
2	7月2日(土)～7日(木)	七夕飾り
3	7月23日(土)～8月16日(火)	盆棚飾り
4	9月7日(水)～11日(日)	十五夜のお供え／芋名月
5	10月5日(水)～10日(月・祝)	十三夜のお供え／豆名月
6	11月14日(月)～20日(日)	恵比寿講のお供え
7	12月17日(土)～22日(木)	冬至のお供え
8	12月21日(水)～1月7日(土)	ゆずり葉で作る坂東家の正月飾り
9	1月9日(月)～15日(日)	小正月の繭玉／粟穂稗穂
10	1月17日(火)～22日(日)	恵比寿講のお供え
11	2月3日(金)	節分のヤッカガシ
12	2月11日(土・祝)～3月5日(日)	雛人形飾り



季節展示「ゆずり葉で作る坂東家の正月飾り」



季節展示「節分のヤッカガシ」

(2) 常設展示

	期 間	内 容
1	4月1日(金)～3月31日(金)	囲炉裏の火入れ、埋蔵されていた一分銀等

(3) 講座・その他事業

① 加田屋の年中行事

(講師 1：河田捷一氏 5：齋藤良夫氏 その他：職員)

参加者76人

	実施日	内 容	参加者数
1	7月3日(日)	イネ科の水草(マコモ)で作る七夕馬作り	4人
2	11月3日(木・祝)	十日夜の藁鉄砲作り	6人
3	12月9日(金)	手作りの正月飾り(牛蒡締め作り)	10人
4	12月20日(火)	煤払い(公開)	2人
5	1月7日(土)	春の七草(公開)	15人
6	2月3日(金)	節分のヤッカガシと豆まき	22人
7	2月5日(日)	初午のしみづかり作り	8人
8	3月4日(土)	投扇興体験	9人



七夕飾り(マコモで作る七夕馬飾り)



投扇興体験

② ぐらしっく講座

(講師：1と5 倉成英昭氏、2と4 大用和宏氏、3 齋藤良夫氏)

参加者96人

	実施日	内 容	参加者数
1	6月5日(日)	見沼の鳥談義と野鳥観察	20人
2	7月9日(土)	慶應大学薬草園で学ぶ草木	19人
3	10月9日(日)	見沼の自然散策	22人
4	11月5日(土)	慶應大学薬草園で学ぶ草木	13人
5	12月4日(日)	見沼の鳥談義と野鳥観察	22人



ぐらしっく講座「見沼の鳥談義と野鳥観察」



ぐらしっく講座「慶應大学薬草園で学ぶ草木」

③ 囲炉裏端で聞くわらしべの民話語り (出演:民話語りわらしべ)

参加者51人

	実施日	内 容	参加者数
1	5月29日(日)	春のおはなし	11人
2	9月25日(日)	夏のおはなし	14人
3	11月27日(日)	秋のおはなし	17人
4	3月26日(日)	冬のおはなし	9人

④ 加田屋工房 (講師:職員)

参加者3人

	実施日	内 容	参加者数
1	9月16日(金)	ペーパーナイフ	3人

⑤ ぐらしっく寄席 (出演:埼玉落語会)

参加者190人

	実施日	内 容	参加者数
1	5月15日(日)	春のぐらしっく寄席	48人
2	7月17日(日)	夏のぐらしっく寄席	42人
3	9月18日(日)	秋のぐらしっく寄席	39人
4	11月13日(日)	晩秋のぐらしっく寄席	61人



囲炉裏端で聞くわらしべの民話語り



ぐらしっく寄席

⑥ 小学生工房 (講師:職員)

参加者71人

	実施日	内 容	参加者数
1	5月8日(日)	竹馬	11人
2	5月22日(日)	バードコール	14人
3	6月11日(土)	竹とんぼ	12人
4	10月23日(日)	ガリガリトンボ	3人
5	11月19日(土)	竹馬	10人
6	12月17日(土)	竹ひごと和紙の凧	8人
7	2月26日(日)	かざぐるま	7人
8	3月19日(日)	竹とんぼ2回目	6人

⑦ 夏休み小学生講座 (講師:職員)

参加者38人

	実施日	内 容	参加者数
1	7月30日(土)	竹の貯金箱作り	11人
2	7月31日(日)	竹の小物置き作り	9人
3	8月6日(土)	竹の水鉄砲作り	8人
4	8月7日(日)	竹の体操人形作り	10人

⑧ 音楽鑑賞会

参加者110人

	実施日	内 容	参加者数
1	10月22日(土)	ギターで唄おうあの歌この歌 ～フォークソングと歌謡曲～	25人
2	3月18日(土)	ギターで唄おうあの歌この歌 ～フォークソングと歌謡曲～	41人
3	3月21日(火・祝)	パンフルートの調べ	44人



ギターで唄おうあの歌この歌



パンフルートの調べ

(4) 体験学習、学校団体見学受入れ

① 体験学習

合計15校

参加者1,152人

	実施日	学校名	学年	参加者数
1	9月14日(水)	植水小学校	3年	61人
2	9月22日(木)	春野小学校	3年	67人
3	9月28日(水)	大谷場小学校	3年	102人
4	10月4日(火)	越谷市立大相模小学校	3年	195人
5	10月12日(水)	東岩槻小学校	3年	21人
6	10月19日(水)	馬宮西小学校	3年	14人
7	10月28日(金)	大宮北小学校	3年	42人
8	11月10日(木)	向小学校	3年	92人
9	11月25日(金)	海老沼小学校	2年	120人
10	11月29日(火)	与野八幡小学校	3年	113人
11	12月14日(水)	谷田小学校	3年	86人
12	1月20日(金)	慈恩寺小学校	3年	47人
13	1月24日(火)	野田小学校	3年	21人
14	2月9日(木)	越谷市立大沢北小学校	3年	106人
15	3月8日(水)	片柳小学校	3年	65人

② 実習

	実施期間	内 容	所 属	人数
1	7月20日(水)～30日(土)	学芸員実習	八洲学園大学、大正大学	3人

(5) 館の保存及び館内整備

① 維持管理

	実施期間	内 容
1	2月7日(火)～3月7日(火)	樹木剪定(シラカシ2本の剪定)

② 修繕

	期 間	内 容
1	10月21日(金)～12月27日(火)	見沼くらしっく館多目的トイレ引き戸修繕
2	12月23日(金)～1月31日(火)	見沼くらしっく館消防設備修繕
3	3月3日(金)～3月15日(水)	見沼くらしっく館管理棟庇屋根瓦修繕

(6) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計

(単位：人)

月	開館日数	見 学		事業・講座	その他利用		計
		個 人	団 体		体験学習	実習等	
4月	26日	412	33	14	－	－	459
5月	23日	393	56	115	－	－	564
6月	26日	448	90	32	－	14	584
7月	27日	294	15	85	－	31	425
8月	25日	286	51	18	－	－	355
9月	25日	410	149	56	230	－	845
10月	26日	366	17	50	272	－	705
11月	25日	308	98	107	325	－	838
12月	23日	249	37	42	86	－	414
1月	23日	318	55	15	68	－	456
2月	22日	366	36	7	106	－	515
3月	26日	396	92	109	65	－	662
計	297日	4,246	729	650	1,152	45	6,822

② 入館者数の推移(過去5年間)

1日平均入館者数は小数点以下切捨て

年 度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	297日	6,822人	22人
令和3年度	302日	6,777人	22人
令和2年度※	251日	4,953人	19人
令和元年度※	273日	8,333人	31人
平成30年度	296日	9,373人	31人

※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

分館

1. 岩槻郷土資料館 (国登録有形文化財・平成28年8月1日登録)

岩槻郷土資料館は、昭和5年(1930)に建てられた岩槻警察署の旧庁舎を利用して、岩槻区を中心とした歴史・民俗資料などを展示しています。昭和51年(1976)の岩槻警察署移転を受け、昭和57年(1982)から建物を資料館として活用し、さいたま市と合併後は市立博物館の分館として事業を推進しています。

建物の外観は、合理主義様式を基調とした装飾性の少ない簡素なものですが、内部は丸窓、庇などにアールデコの意匠が見られ、アーチ窓や丸柱などとともに昭和初期の特徴をよく残しています。埼玉県内の昭和初期の建物として鉄筋コンクリート造は貴重なものであり、かつ木造の附属庁舎・演武場がまとまって残っているという点も希少な例といえます。

平成28年(2016)3月11日に開催された国の文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、「岩槻郷土資料館(旧岩槻警察署本庁舎・附属庁舎及び演武場)」、「旧岩槻警察署附属掲示場」の2件が埼玉県における昭和初期の建造物の特徴をよく示していることから「造形の規範になっているもの」という登録基準により、新たに登録有形文化財(建造物)に登録するよう文部科学大臣に答申されました。そして、同年8月1日には、文化財保護法第57条第1項の規定により、文化財登録原簿に登録されました(官報告示：平成28年8月1日付け文部科学省告示第107号)。

なお、旧岩槻警察署附属掲示場は入り口前に設置されていましたが、道路拡幅工事に伴い、平成21年(2009)に資料館駐車場に移設しました。

(1) 施設の概要

開館	昭和57年5月1日
建築	地上2階 鉄筋コンクリート造
敷地面積	1,744.78㎡
延床面積	589.20㎡



岩槻郷土資料館外観

(2) 事業

① 展示及び関連講座

ア 夏休み子ども博物館

- ・会期 7月16日(土)～8月28日(日) 44日間(開館日数37日)入館者548人
- ・内容 昭和の時代のおもちゃの展示と体験
- ・関連講座

実施日	講座名	参加者数
7月23日(土)・24日(日)・30日(土) 10時～15時	だれでもできる簡単なおもちゃづくり	75人

イ 講座「埼玉の中世城館跡を考える」

参加者 44人

実施日	講師	講座名	参加者数
7月16日(土) 14時～15時30分	深谷市教育委員会職員	深谷市深谷城	23人
9月17日(土) 14時～15時30分	羽生市教育委員会職員	羽生市羽生城	21人

ウ 企画展「明治から昭和初期の絵葉書にみる各地の情景」

- 会 期 9月17日(土)～10月16日(日) 30日間(開館日数25日)入館者284人
- 内 容 さいたま市立博物館、浦和博物館、岩槻郷土資料館に所蔵されている明治から昭和初期の絵葉書を展示

エ 企画展「真福寺貝塚～今とこれから」

- 会 期 11月22日(火)～令和5年1月15日(日) 55日間(開館日数40日)入館者525人
- 内 容 現在の真福寺貝塚の状況を展示し、あわせて埼玉県内の国指定史跡である富士見市水子貝塚、蓮田市黒浜貝塚、春日部市神明貝塚についての講座を開催

• 関連講座

参加者 71人

実施日	講 師	講座名	参加者数
12月10日(土) 14時～15時30分	春日部市教育委員会職員	春日部市神明貝塚	21人
12月17日(土) 14時～15時30分	蓮田市教育委員会職員	蓮田市黒浜貝塚	26人
1月14日(土) 14時～15時30分	富士見市水子貝塚資料館職員	富士見市水子貝塚	24人

オ 講座「さいたまを知ろう2022」

実施日	講 師	講座名	参加者数
1月29日(日) 14時～15時30分	埼玉県立近代美術館学芸員	田中保とその時代	24人

カ 企画展「張り子～リサイクルの郷土玩具」

- 会 期 令和5年2月18日(土)～3月21日(火・祝) 32日間(開館日数26日)入館者704人
- 内 容 埼玉県東部でさかんに作られた郷土玩具である張り子を紹介するとともに、市立博物館、浦和博物館で所蔵している全国的にみられる様々な張り子を展示

② 講座

ア 出張講座・講師派遣

参加者 延べ199人

	実施日	場 所	対 象	内 容	参加者数
1	6月8日(水) 13時30分～15時	岩槻区役所	岩槻区内ガイド 研修受講者	城下町岩槻歴史散策 第1回研修会	13人
2	7月23日(土) 13時～14時30分	市民会館 いわつき	岩槻の歴史を 学ぶ教員の会	岩槻城の歴史	13人
3	11月10日(木)・17日(木) 13時30分～15時	別所公民館	どなたでも	縄文時代の地域について	延べ43人
4	11月24日(木) 13時30分～16時	北浦和公民館	どなたでも	縄文時代の暮らしと文化について	19人
5	12月7日(水) 14時～15時30分	大久保東公民館	どなたでも	弥生時代の久保	34人
6	2月28日(火)・ 3月14日(火) 14時～15時30分	武蔵浦和 コミュニティ センター	市内在住の方	円正寺から発掘された縄文人の 人骨から分かること、他さいたま市 の原始・古代について	延べ67人
7	3月25日(土) 13時30分～15時	市民会館 いわつき	岩槻の歴史を 学ぶ教員の会	見沼のうつり変わり	10人

③ 学校団体見学受入れ

2校 134人

実施日	学校名	学 年	入館者数
5月27日(金)	筑波大学附属中学校	1年	121人
3月7日(火)	川通小学校	3年	13人

(3) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計

(単位：人)

月	開館日数	個 人	団 体	計
4月	26日	187	31	218
5月	23日	239	171	410
6月	26日	185	46	231
7月	27日	274	—	274
8月	25日	301	54	355
9月	25日	211	—	211
10月	26日	284	63	347
11月	25日	341	14	355
12月	23日	245	49	294
1月	23日	243	49	292
2月	22日	398	49	447
3月	26日	510	59	569
合計	297日	3,418	585	4,003

② 入館者数の推移(過去5年間)

年 度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	297日	4,003人	13人
令和3年度	302日	3,921人	12人
令和2年度※	251日	2,632人	10人
令和元年度※	273日	5,503人	20人
平成30年度	296日	5,751人	19人

1日平均入館者数は小数点以下切捨て

※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

2. 岩槻藩遷喬館^{せんきょうかん} (埼玉県指定史跡・昭和14年3月31日指定)

岩槻藩遷喬館は、江戸時代後期の寛政11年(1799)、岩槻藩に仕えていた儒者・児玉南柯が、武家地にある裏小路の一角に開いた私塾で、後に藩校となりました。最盛期には、梅林を伴った広大な敷地の中に武芸稽古場、学問の神様・菅原道真を祀った菅神廟、南柯の自宅、築山・池泉・観望台なども設けられていました。

江戸時代、全国には多くの藩校が開校されていましたが、現在も建物が残っているものは非常に少なく、県内では唯一残っているのがこの岩槻藩遷喬館です。明治4年(1871)に藩校が廃止になった後は、おおむね民家として使用されていましたが、昭和14年(1939)に県の史跡に指定され、昭和31年(1956)には岩槻市に寄贈されました。

傷みが激しかった建物を昭和31年(1956)8月から昭和32年(1957)3月にかけて解体修理し、一般公開しました。その後、昭和47年(1972)・61年(1986)に茅葺屋根の葺き替え、昭和56年(1981)に床組と土間の修繕を行いました。平成に入ると建物の腐食や傾きなど、傷みが目立つようになりました。そこで、建物調査・発掘調査を経て、平成15年(2003)から平成18年(2006)にかけて大規模な解体修理を行い、平成18年5月1日から再び一般公開しています。令和元年(2019)12月及び令和2年(2020)2月の強風により破損した屋根の修理のため、令和2年8月18日(火)から9月13日(日)まで臨時休館しました。



岩槻藩遷喬館外観

(1) 施設の概要

開館	昭和32年
建築	木造平屋建茅葺屋根(主屋) 木造平屋建瓦葺屋根(管理事務所棟) 鉄筋コンクリート平屋FRP塗膜防水屋根(消火施設棟)
敷地面積	556.19㎡
延床面積	96.73㎡(主屋)、14.87㎡(管理棟)、 5.94㎡(消火施設棟)

(2) 事業

① 学校団体見学受入れ

3校 361人

実施日	学校名	学年	参加者数
5月24日(火)	岩槻中学校	1年	112人
5月27日(金)	筑波大学附属中学校	1年	233人
6月16日(木)	城北中学校	2年	16人

② 茅葺屋根燻蒸

茅葺屋根の保護のため、木材煙発生装置による燻蒸作業を、年4回実施しました。

実施日：5月16日(月)・8月8日(月)・11月21日(月)・2月13日(水)

(3) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計

(単位：人)

月	開館日数	個人	団体	計
4月	26日	220	112	332
5月	23日	384	454	838
6月	26日	254	71	325
7月	27日	218	115	333
8月	25日	235	34	269
9月	25日	189	72	261
10月	26日	351	59	410
11月	25日	303	78	381
12月	23日	353	61	414
1月	23日	608	—	608
2月	22日	1,181	160	1,341
3月	26日	1,201	322	1,523
合計	297日	5,513	1,522	7,035

② 入館者数の推移(過去5年間)

年度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	297日	7,035人	23人
令和3年度	302日	6,020人	19人
令和2年度※	227日	4,279人	18人
令和元年度※	273日	5,242人	19人
平成30年度	296日	6,320人	21人

1日平均入館者数は小数点以下切捨て

※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

※茅葺屋根修繕のため、令和2年8月18日から9月13日まで臨時休館

3. 与野郷土資料館

与野郷土資料館は、与野本町小学校の複合施設「いーよの」内に、政令指定都市初(※1)の試みとして令和2年に開館しました。旧与野市域は、さいたま新都心のすぐ西側に位置するという立地ながら、豊かな自然と歴史的にも貴重な多くの文化遺産が存在しており、これら先人の残した遺産を、次世代に確実に継承しながら積極的に活用するため、学校教育と社会教育とを融合させた特色ある博物館です。旧与野市域に限らず、さいたま市の西側エリアも対象とした幅広い資料の収集や展示等を行うこととし、モニターなどの最新の映像技術も活用することで、来館者にわかりやすく親しみのある博物館の実現に努めています。

第一展示室は「多世代交流と体験の場」として、けん玉や紙芝居などの昔遊びの体験ができるスペースがあり、ここでは公募した市民ボランティアが活躍しています。第二展示室は通史展示で、さいたま市の西側地域を対象とした旧石器時代から現代までの実物資料やレプリカを展示しています。

また、複合施設入口の地域サロンは、地域の方々がいつでも自由に集える空間として開放されており、飲食も可能なスペースになっています。与野郷土資料館が講座を実施する場所としても活用されています。

※1 小学校を含む複合施設内の博物館は、政令指定都市では初の設置。

(1) 施設の概要

開館	令和2年4月1日(※2)
建築	鉄筋コンクリート造
敷地面積	434.8㎡
延床面積	434.8㎡

※2 新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言により、令和2年4月1日から5月31日まで臨時休館。
供用開始、セレモニーの実施は6月1日。



与野郷土資料館外観



施設平面図

(2) 令和4年度事業報告

① 展示

	期 間	内 容	入館者数
1	通年	さいたま市西側地域を対象とした旧石器時代から現代までの歴史資料を展示	4,920人

② 講座

ア お気楽講座

参加者 271人

	実施日	事業名	参加者数
1	5月1日(日) 9:00~16:00	資料館で昔あそび(春季)	53人
2	7月24日(日) 10:00~11:00	おりがみを楽しもう!(夏の風物)	8人
3	8月28日(日) 10:00~11:00	おりがみを楽しもう!(遊べるおりがみ)	8人
4	9月25日(日) 10:00~11:00	おりがみを楽しもう!(秋の風物)	9人
5	10月23日(日) 10:00~11:00	おりがみを楽しもう!(バラエティー)	8人
6	11月6日(日) 9:00~16:00	資料館で昔あそび(秋季)	52人
7	11月12日(土) 14:00~15:30	武蔵の国一宮の氷川神社と明治維新	41人
8	11月19日(土) 14:00~15:30	武蔵の国一宮の氷川神社社殿の変遷	46人
9	11月27日(日) 10:00~11:00	おりがみを楽しもう!(クリスマス)	6人
10	2月25日(土) 14:00~15:00	与野にも奇妙なお話会①	21人
11	3月5日(日) 14:00~15:00	与野にも奇妙なお話会②	19人

※1・6は、途中に休憩時間(昼食)を1時間とった。

※7・8は、隣接する与野本町コミュニティセンターの会議室で実施した。

イ 子ども博物館講座

時間:9:30~11:30 (5・6は9:30~11:00) 参加者 68人

	実施日	事業名	参加者数
1	8月3日(水)	夏休み子ども博物館講座 古代のアクセサリーまが玉づくり①(小学生)	7人
2	8月4日(木)	夏休み子ども博物館講座 古代のアクセサリーまが玉づくり②(小学生)	8人
3	8月5日(金)	夏休み子ども博物館講座 古代のアクセサリーまが玉づくり③(小学生)	8人
4	8月9日(火)	夏休み子ども博物館講座 古代のアクセサリーまが玉づくり④(小学生)	7人
5	8月10日(水)	夏休み子ども博物館講座 「土器の拓本」でしおりづくり①(小学生)	7人
6	8月11日(木)	夏休み子ども博物館講座 「土器の拓本」でしおりづくり②(小学生)	7人
7	12月24日(土)	冬休み子ども博物館講座 「ぐにゃぐにゃたこ」づくり①(小学生親子)	11人
8	12月25日(日)	冬休み子ども博物館講座 「ぐにゃぐにゃたこ」づくり②(小学生親子)	13人

③ 共催講座

参加者 18人

	実施日	場 所	内 容	参加者数
1	10月22日(土) 14時00分~15時30分	与野本町コミュニティセンターと 与野郷土資料館	与野本町コミュニティセンターとの共催講座「奇跡のタイムカプセル 南鴻沼遺跡」(講演と展示解説) 講師は当館職員	18人

④ 体験学習の受入れ

参加者 325人

	実施日	学校名	学年・学級数	参加者数
1	1月17日(火)	与野本町小学校	3年1学級	30人
2	1月18日(水)	与野本町小学校	3年2学級	64人
3	1月24日(火)	与野西北小学校	3年2学級	62人
4	1月26日(木)	与野西北小学校	3年3学級	86人
5	2月2日(木)	鈴谷小学校	3年3学級	83人

⑤ 教育普及事業(団体としてカウント)

参加者 160人

	実施日	事業名	参加者数
1	4月7日(木)	さいたま市新規採用職員研修①	18人
2	4月12日(火)	さいたま市新規採用職員研修②	16人
3	9月7日(水)	与野本町小3年 国語(施設の取材)	89人
4	10月20日(木)	与野本町小3年 総合的な学習の時間①	17人
5	11月18日(金)	与野本町小3年 総合的な学習の時間②	20人

⑥ 団体受入

合計106人

	実施日	団体名	来館者数
1	5月17日(火)	富士見市歴史の会	13人
2	5月20日(金)	大宮観光ボランティアガイド会①	12人
3	5月25日(水)	大宮観光ボランティアガイド会②	16人
4	6月24日(金)	かやの木	21人
5	8月4日(木)	与野本町放課後児童クラブ①	26人
6	8月5日(金)	与野本町放課後児童クラブ②	18人

⑦ ボランティア活動

[単位：回、()は参加者数]

月	来館者対応	講座対応	体験学習	計
4月	7(7)	1(15)	-	8(22)
5月	6(6)	1(16)	-	7(22)
6月	7(8)	1(10)	-	8(18)
7月	6(8)	2(12)	-	8(20)
8月	2(2)	8(28)	-	10(30)
9月	2(2)	3(25)	-	5(27)
10月	3(3)	5(43)	1(7)	9(53)
11月	-	5(40)	-	5(40)
12月	-	3(13)	-	3(13)
1月	-	1(9)	4(30)	5(39)
2月	2(3)	2(22)	1(9)	5(34)
3月	2(2)	2(22)	-	4(24)
計	37(41)	34(255)	6(46)	77(342)

※講座対応とは、ボランティアが講座「資料館で昔あそび」「おりがみを楽しもう!」「与野にも奇妙なお話会」の講師やその準備、他の講座の補助を行った活動である。

※ボランティアを対象とした体験学習講師の指導実技伝達講習会を10月27日(木)に実施した。

(3) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計 (単位：人)

月	開館日数	個人	団体	体験学習	計
4月	26日	314	34	－	348
5月	23日	291	41	－	332
6月	26日	252	21	－	273
7月	27日	296	－	－	296
8月	25日	603	44	－	647
9月	25日	298	89	－	387
10月	26日	358	17	9	384
11月	25日	443	20	－	463
12月	23日	297	－	－	297
1月	23日	434	－	242	676
2月	22日	320	－	83	403
3月	26日	414	－	－	414
計	297日	4,320	266	334	4,920

② 入館者数の推移(過去3年間)

年 度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	297日	4,920人	16人
令和3年度	302日	4,813人	15人
令和2年度※	251日	4,150人	16人

1日平均入館者数は小数点以下切捨て

※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年4月1日から5月31日まで臨時休館

4. ^{こうぬま} 鴻沼資料館

江戸時代、現在の下落合（中央区）から鹿手袋（南区）にかけて鴻沼（高沼）と呼ばれる溜井（貯水池）がありました。享保の改革の新田開発の奨励に伴い、見沼溜井とともに干拓されることになり、享保14～15年（1729～30）にかけて鴻沼用水路・排水路の開削、新田の造成が行われました。

この鴻沼用水路・排水路周辺地域の開発の歴史を後世に残すため、地域住民から寄贈された民俗資料をもとに鴻沼排水関係二ヶ土地改良区連合が、平成4年（1992）に開設した資料館です。その後、同連合の解散に伴い一時公開を控えていましたが、旧浦和市が寄贈を受け、平成7年より再公開を始めました。



鴻沼資料館外観

(1) 施設の概要

開館	平成4年5月1日、平成7年7月1日（再公開）
建築	鉄骨造・木造3階建 （1階鉄骨、2・3階木造一部鉄骨）
敷地面積	522.01㎡
建築面積	144㎡
延床面積	432㎡

(2) 事業

① 学校団体見学受入れ

実施日	学校名	学年	参加者数
10月19日（水）	土合小学校	3年	37人

② 消防用設備（誘導灯）交換修繕

同資料館内の誘導灯について交換修繕を行いました。（実施期間：5月30日～7月15日）

(3) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計

（単位：人）

月	開館日数	個人	団体	計
4月	22日	12	—	12
5月	20日	13	—	13
6月	21日	18	—	18
7月	23日	9	—	9
8月	22日	25	—	25
9月	20日	11	—	11
10月	22日	15	46	61
11月	22日	6	—	6
12月	19日	11	29	40
1月	19日	34	—	34
2月	19日	15	—	15
3月	21日	14	—	14
合計	250日	183	75	258

② 入館者数の推移（過去5年間）

年度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	250日	258人	1人
令和3年度※1	252日	199人	0人
令和2年度※2	212日	227人	1人
令和元年度※2	227日	349人	1人
平成30年度	248日	359人	1人

（小数点以下切捨て）

※1 下水道接続に係る修繕のため、令和4年3月7日（月）～3月12日（土）まで臨時休館

※2 新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

5. 旧高野家離座敷 (さいたま市指定文化財・昭和56年4月4日指定)

この建物は、赤山街道と呼ばれる道筋に面した旧高野家の敷地内にあったもので、江戸時代末期の蘭方医・高野隆仙が主屋の離れとして建てたものです。寄棟茅葺の小規模な建物で、4畳半・3畳の二間からなり、4畳半には茶席用の炉を切り、床の間や隅切の下地窓を設けるなど、茶室建築の手法を取り入れた「数寄屋造り」と考えられています。

平成10年(1998)に旧浦和市に寄贈され、平成12年度に修繕・後補部分の取り壊しを行い、平成13年度から一般公開しています。平成17年度には、管理棟・門扉建設、復原修理を行いました。



旧高野家離座敷外観

(1) 施設の概要

開館	平成13年4月1日
建築	木造平屋建、寄棟、茅葺、下屋(杉皮葺)
敷地面積	175.59㎡
建築面積	管理棟9.9㎡、離座敷22.5㎡

(2) 利用状況・統計

① 令和4年度入館者利用統計 (単位:人)

月	開館日数	個人	団体	計
4月	9日	36	-	36
5月	9日	24	-	24
6月	8日	23	-	23
7月	10日	25	-	25
8月	8日	21	-	21
9月	8日	17	-	17
10月	10日	23	-	23
11月	8日	12	-	12
12月	8日	20	-	20
1月	8日	21	-	21
2月	8日	27	-	27
3月	8日	16	-	16
合計	102日	265	0	265

② 入館者数の推移(過去5年間)

年度	開館日数	入館者数	1日平均入館者数
令和4年度	102日	265人	2人
令和3年度	102日	528人	5人
令和2年度※	84日	450人	5人
令和元年度※	92日	466人	5人
平成30年度	103日	534人	5人

(小数点以下切捨て)

※新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う緊急事態宣言のため、令和2年3月2日から5月31日まで臨時休館

各館の案内

○さいたま市立博物館

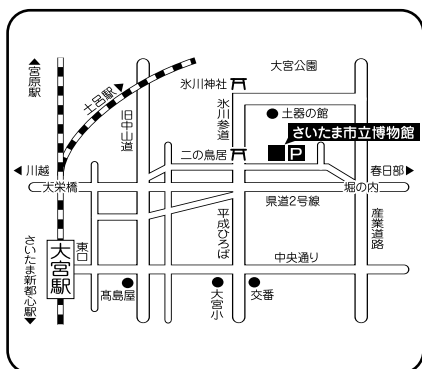
所在地 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目1番地2
電話 048-644-2322
FAX 048-644-2313
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）、特別整理期間、館内燻蒸消毒期間
入館料 無料
交通案内 JR・東武アーバンパークライン(野田線)大宮駅下車 徒歩約15分 氷川参道二の鳥居 東側

○さいたま市立浦和博物館

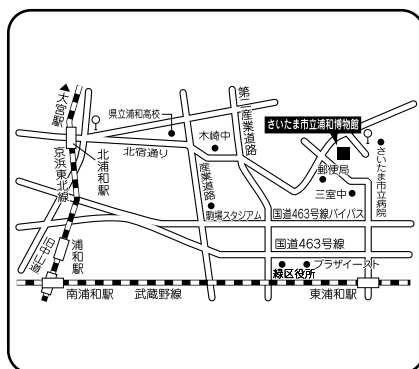
所在地 〒336-0911 さいたま市緑区三室2458番地
電話 048-874-3960(FAX兼用)
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）、特別整理期間、館内燻蒸消毒期間
入館料 無料
交通案内 JR京浜東北線北浦和駅下車 東口から東武バス「さいたま市立病院」行きバス約15分
終点「さいたま市立病院」下車すぐ

○浦和くらしの博物館民家園

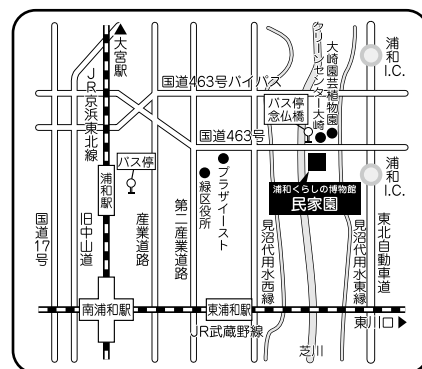
所在地 〒336-0925 さいたま市緑区下山口新田1179番地1
電話 048-878-5025
FAX 048-878-5028
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）、特別整理期間
入館料 無料
交通案内 ・JR京浜東北線浦和駅下車 東口から国際興業バス「東川口駅北口」、「浦和美園駅(大門経由)」、
「大崎園芸植物園」行きバス約20分 バス停「念仏橋」下車すぐ
・JR武蔵野線東浦和駅下車 徒歩約25分



さいたま市立博物館



さいたま市立浦和博物館



浦和くらしの博物館民家園

○旧坂東家住宅見沼くらしっく館

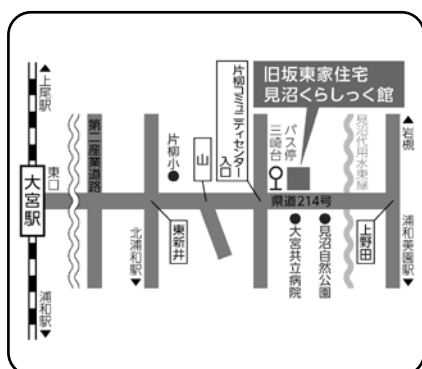
所在地 〒337-0024 さいたま市見沼区片柳1266番地2
電話 048-688-3330
FAX 048-688-3335
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）
入館料 無料
交通案内 JR・東武アーバンパークライン（野田線）大宮駅下車 東口から国際興業バス「浦和学院高校」
「さいたま東営業所」「浦和美園駅西口」行きバス約30分 バス停「三崎台」下車すぐ

○岩槻郷土資料館

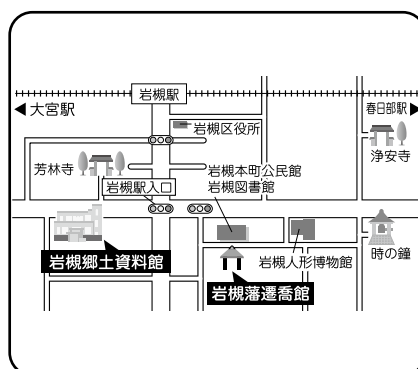
所在地 〒339-0057 さいたま市岩槻区本町2丁目2番34号
電話 048-757-0271 (FAX兼用)
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）
入館料 無料
交通案内 東武アーバンパークライン（野田線）岩槻駅下車 徒歩約10分 国道旧16号線（旧市宿通り）沿い

○岩槻藩遷喬館

所在地 〒339-0057 さいたま市岩槻区本町4丁目8番9号
電話 048-757-5110 (FAX兼用)
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）
入館料 無料
交通案内 東武アーバンパークライン（野田線）岩槻駅下車 徒歩約10分 市道4026号線沿い（旧裏小路）
岩槻図書館・岩槻本町公民館 南側



旧坂東家住宅見沼くらしっく館



岩槻郷土資料館・岩槻藩遷喬館

○与野郷土資料館

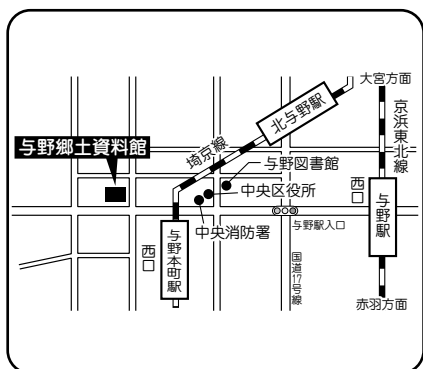
所在地 〒338-0003 さいたま市中央区本町東3丁目5番23号
電話 048-714-5471
F A X 048-714-5472
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）
入館料 無料
交通案内 JR埼京線与野本町駅下車 徒歩約5分 与野本町コミュニティセンター 北側
与野本町小学校複合施設「いーよの」地下1階

○鴻沼資料館

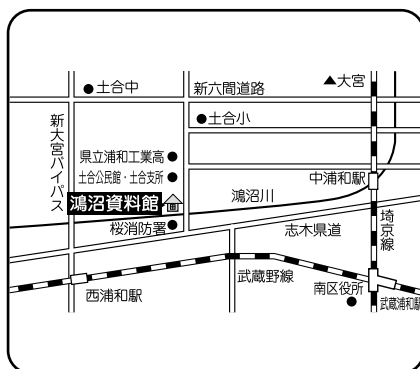
所在地 〒338-0832 さいたま市桜区西堀4丁目1番4号
電話 048-878-5025（浦和くらしの博物館民家園）
F A X 048-878-5028（浦和くらしの博物館民家園）
開館時間 午前9時～正午
休館日 月曜日・木曜日（休日を除く）、休日の翌日（土曜日・日曜日・休日・休館日を除く）、
年末年始（12月28日～1月4日）
入館料 無料
交通案内 ・JR武蔵野線西浦和駅またはJR埼京線中浦和駅下車 徒歩約12分
・JR京浜東北線浦和駅から国際興業バス「桜区役所（中浦和駅・西堀経由）」行き「西堀」
下車すぐ

○旧高野家離座敷

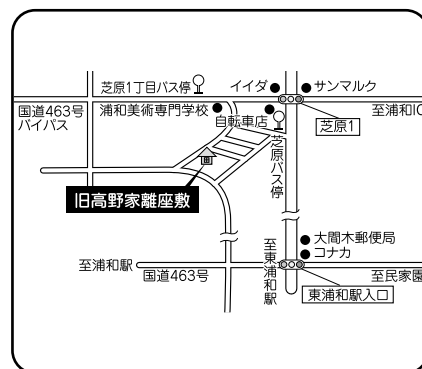
所在地 〒336-0923 さいたま市緑区大間木3丁目30番地11
電話 048-878-5025（浦和くらしの博物館民家園）
F A X 048-878-5028（浦和くらしの博物館民家園）
開館時間 午前9時～午後4時30分
開館日 土曜日・日曜日 ※年末年始（12月28日～1月4日）は休館
入館料 無料
交通案内 ・JR武蔵野線東浦和駅から国際興業バス「馬場折返場」「さいたま東営業所（宮本経由）」、
「馬場折返場経由市立病院」行き「芝原」下車 徒歩約3分
・JR京浜東北線浦和駅東口から国際興業バス「浦和美園駅西口（バイパス経由）」、
「さいたま東営業所（中尾陸橋・芝原一丁目経由）」行き「芝原一丁目」下車 徒歩約3分
・埼玉高速鉄道浦和美園駅西口から国際興業バス「浦和駅東口（バイパス経由）」行き
「芝原一丁目」下車 徒歩約3分



与野郷土資料館



鴻沼資料館



旧高野家離座敷

条例・規則

○さいたま市博物館条例

平成13年5月1日
条例第132号

(設置)

第1条 教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
さいたま市立博物館	さいたま市大宮区高鼻町2丁目1番地2
さいたま市立浦和博物館	さいたま市緑区大字三室2458番地
浦和くらしの博物館民家園	さいたま市緑区大字下山口新田1179番地1
旧坂東家住宅見沼くらしの館	さいたま市見沼区大字片柳1266番地2

(一部改正〔平成14年条例67号〕)

(事業)

第3条 博物館は、法第3条に定める事業及び市教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認める事業を行う。

(職員)

第4条 博物館に館長その他の職員を置く。

(休館日)

第5条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)である場合を除く。)
- (2) 休日の翌日(その日が日曜日、土曜日、休日又は休館日である場合は、その日後において、その日に最も近い日)
- (3) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで
- (4) 特別整理期間(年間10日以内)

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、特別の理由があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(利用時間)

第6条 博物館の利用時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、必要があると認めるときは、利用時間を変更することができる。

(展示室等の利用の許可)

第7条 さいたま市立博物館の展示室及び講座室並びに旧坂東家住宅見沼くらしの館の学習室等の施設(以下「展示室等」という。)は、博物館の目的に沿った展示会、研修会等を実施するために、市民の利用に供することができる。

2 前項の規定により展示室等を利用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

(入館等の制限)

第8条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者がある場合は、その者の入館又は利用を拒み、若しくは退館を命ずることができる。

- (1) 展示品、保管物、施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、管理上支障があると認められるとき。

(利用許可の取消し等)

第9条 委員会は、第7条の利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するときは、その利用を停止し、又は利用許可を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正な手段により利用の許可を受けたとき。
- (2) 利用許可の条件又は職員の指示に違反したとき。
- (3) 管理上特に必要と認められるとき。
- (4) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(入館料等)

第10条 博物館の入館料及び施設の使用料は、無料とする。ただし、博物館が期間を定めて特別の資料を展示した場合においては、市長は別に入館料の額を定め、これを徴収することができる。

(入館料の減免)

第11条 市長は、特別の事情がある場合において必要があると認めるときは、前条ただし書に規定する入館料を減額し、又は免除することができる。

(原状回復の義務)

第12条 利用者は、展示室等の利用を終了したときは、速やかに当該施設等を原状に回復しなければならない。第9条の規定により利用の停止又は利用許可の取消しの処分を受けたときも、同様とする。

(損害賠償の義務)

第13条 博物館の入館者が、故意又は過失により博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失した場合は、速やかに原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めると

きは、この限りでない。

(協議会)

第14条 法第20条第1項の規定に基づき、さいたま市博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

2 協議会は、委員15人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 公募による市民

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

(委任)

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成24年条例9号・26年19号〕)

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年5月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の浦和市博物館条例(平成7年浦和市条例第14号)、大宮市立博物館条例(昭和55年大宮市条例第23号)又は旧坂東家住宅見沼くらしっく館条例(平成8年大宮市条例第2号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成14年12月26日条例第67号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月21日条例第9号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月25日条例第19号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○さいたま市博物館条例施行規則

平成13年5月1日

教育委員会規則第40号

(趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市博物館条例(平成13年さいたま市条例第132号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(分館)

第2条 さいたま市立博物館(以下「市立博物館」という。)に分館を置き、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
岩槻郷土資料館	さいたま市岩槻区本町2丁目2番34号
岩槻藩遷喬館	さいたま市岩槻区本町4丁目8番9号
与野郷土資料館	さいたま市中央区本町東3丁目5番23号
鴻沼資料館	さいたま市桜区西堀4丁目1番4号
旧高野家離座敷	さいたま市緑区大間木3丁目30番地11

2 分館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市教育委員会(以下「委員会」という。)は、特別の理由があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(1) 岩槻郷土資料館、岩槻藩遷喬館及び与野郷土資料館
ア 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)である場合を除く。)

イ 休日の翌日(その日が日曜日、土曜日、休日又は休館日である場合は、その日後において、その日に最も近い日。以下同じ。)

ウ 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

(2) 鴻沼資料館

ア 月曜日及び木曜日(その日が休日である場合を除く。)

イ 休日の翌日

ウ 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

(3) 旧高野家離座敷

ア 月曜日から金曜日まで

イ 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

3 分館の利用時間は、次のとおりとする。ただし、委員会は、必要があると認めるときは、利用時間を変更することができる。

(1) 岩槻郷土資料館、岩槻藩遷喬館、与野郷土資料館及び旧高野家離座敷

午前9時から午後4時30分まで

(2) 鴻沼資料館 午前9時から午後零時まで

4 前2項に掲げるもののほか、分館の利用にあっては市立博物館の例による。

(全部改正〔平成17年教委規則16号〕、一部改正〔平成18年教委規則11号・23年6号・30年2号・31年12号〕)
(入館者等の遵守すべき事項)

第3条 入館者及び利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 館内の秩序を乱さないこと。
- (2) 許可を受けずに館内において寄附の募集、物品の販売、飲食物等の提供、広告物の掲示、写真の撮影、録音等を行わないこと。
- (3) 所定の場所以外において、火気等を使用し、又は喫煙しないこと。
- (4) 展示資料に触れ、汚損し、又は損傷しないこと。
- (5) 危険のおそれがある物品を携帯しないこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

2 委員会は、管理上必要があるときは、入館者又は利用者に対しその都度必要な指示をすることができる。

(資料の館内利用)

第4条 学術上の研究のため博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第3項に規定する博物館資料(以下「資料」という。)を館内で特に利用しようとする者は、資料館内利用許可申請書(様式第1号)を委員会に提出し、資料館内利用許可書(様式第2号)の交付を受けなければならない。

(資料の館外利用)

第5条 他の博物館、図書館、学校その他委員会が適当と認める者は、資料を館外で利用することができる。

2 資料を館外で利用しようとする者は、資料館外利用許可申請書(様式第3号)を委員会に提出し、資料館外利用許可書(様式第4号)の交付を受けなければならない。

3 資料の館外利用期間は、30日以内とする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

4 委員会は、必要があるときは、館外利用期間中であっても資料の返還を求めることができる。

(資料の寄贈又は寄託)

第6条 委員会は、博物館における展示又は研究に資する目的で、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 資料を寄贈しようとする者は資料寄贈申請書(様式第5号)により、資料を寄託しようとする者は資料寄託申請書(様式第6号)により委員会に申請するものとする。

3 委員会が資料の寄贈を受けると決定したときは資料を寄贈しようとする者に対し資料受領書(様式第7号)を、寄託を受けると決定したときは資料を寄託しようとする者に対し資料受託書(様式第8号)を交付するものとする。

4 前項の寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、事情により館費をもって支弁することができる。

5 寄託された資料は、博物館所蔵の資料と同様の取扱い

をするものとする。ただし、当該資料の館外利用については、寄託者の承認を得なければならない。

6 委員会は、寄託された資料の不可抗力による損害に対してその責めを負わないものとする。

(資料の借用)

第7条 委員会は、博物館における展示又は研究に資する目的で、資料を借用することができる。

2 博物館が、借用した資料の館外利用、模写、模型製造、撮影又は公刊を行おうとするとき及び第三者がこれらの行為をしようとするときは、所有者の承諾を得なければならない。

(継続利用期間)

第8条 市立博物館の展示室及び講座室並びに旧坂東家住宅見沼くらしっく館の学習室等の施設(以下「展示室等」という。)を引き続いて利用することができる期間は、14日とする。ただし、委員会は、事情によりこれを変更することができる。

(一部改正〔平成17年教委規則16号〕)

(展示室等の利用の手続)

第9条 条例第7条第2項の規定により展示室等の利用の許可又は許可に係る事項の変更(取消しを含む。)の許可を受けようとする者は、次に定めるところにより申請書を委員会に提出しなければならない。

(1) 展示室等の利用の許可を受けようとする場合 展示室等利用許可申請書(様式第9号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可を受けようとする場合 展示室等利用変更許可申請書(様式第10号)

2 前項に規定する申請書は、展示室については利用しようとする日の6月前から、講座室、学習室等の施設については2月前からそれぞれ受け付けるものとする。

3 条例第7条第2項の規定による展示室等の利用の許可又は許可に係る事項の変更(取消しを含む。)の許可は、次に定めるところにより許可書を交付して行うものとする。

(1) 展示室等の利用の許可 展示室等利用許可書(様式第11号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可 展示室等利用変更許可書(様式第12号)

(所掌事務)

第10条 市立博物館の所掌事務は次のとおりとする。

(1) 資料の収集、保管、展示、調査研究、利用等に関すること。

(2) 図録、研究報告書等の刊行及び頒布に関すること。

(3) 来館者の受付及び入館料に関すること。

(4) 教育活動及び普及活動に関すること。

(5) 施設及び設備の維持管理に関すること。

- (6) さいたま市博物館協議会に関すること。
- (7) さいたま市立浦和博物館（以下「浦和博物館」という。）、浦和くらしの博物館民家園及び旧坂東家住宅見沼くらしっく館との連絡調整に関すること。
- 2 浦和博物館、浦和くらしの博物館民家園及び旧坂東家住宅見沼くらしっく館の所掌事務は次のとおりとする。
- (1) 資料の収集、保管、展示、調査研究、利用等に関すること。
- (2) 図録、研究報告書等の刊行及び頒布に関すること。
- (3) 来館者の受付及び入館料に関すること。
- (4) 教育活動及び普及活動に関すること。
- （全部改正〔平成15年教委規則20号〕、
一部改正〔平成23年教委規則6号〕）
- （係の設置）

第11条 市立博物館に次の係を置く。

- (1) 管理係
- (2) 事業係
- （追加〔平成23年教委規則6号〕）
- （その他）

第12条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（一部改正〔平成15年教委規則20号・23年6号〕）

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、平成13年5月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の浦和市立郷土博物館管理規則（昭和47年浦和市教育委員会規則第3号）、浦和くらしの博物館民家園管理規則（平成7年浦和市教育委員会規則第13号）、大宮市立博物館管理規則（昭和55年大宮市教育委員会規則第10号）、大宮市立博物館処務規則（昭和55年大宮市教育委員会規則第11号）又は旧坂東家住宅見沼くらしっく館条例施行規則（平成8年大宮市教育委員会規則第9号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。
- （岩槻市の編入に伴う経過措置）
- 3 岩槻市の編入の日の前日までに、編入前の岩槻市立郷土資料館管理規則（昭和61年岩槻市教育委員会規則第1号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。

（追加〔平成17年教委規則16号〕）

附 則（平成15年3月27日教委規則第20号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日教委規則第16号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月27日教委規則第11号）

この規則は、平成18年5月1日から施行する。

附 則（平成23年3月29日教委規則第6号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成30年1月26日教委規則第2号）

この規則は、平成32年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月29日教委規則第12号）

この規則は、公布の日から施行する。

※様式－略

○さいたま市博物館協議会規則

平成13年5月1日

教育委員会規則第41号

（趣旨）

第1条 この規則は、さいたま市博物館条例（平成13年さいたま市条例第132号）第15条の規定に基づき、さいたま市博物館協議会（以下「協議会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員長及び副委員長）

第2条 委員長は、協議会の会務を総理し、協議会を代表する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

（庶務）

第4条 協議会の庶務は、生涯学習部において処理する。

（委任）

第5条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成13年5月1日から施行する。

令和4年度 さいたま市博物館年報

編集・発行 さいたま市立博物館

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目1番地2

電話 048-644-2322

F A X 048-644-2313

ウェブサイト <https://www.city.saitama.jp/004/005/004/005/index.html>

Eメール saitama-museum@city.saitama.lg.jp

発行日 令和5年8月18日



